



IBM System x

IBM ToolsCenter Suite
ユーザーズ・ガイド

バージョン 9.30





IBM System x

**IBM ToolsCenter Suite
ユーザース・ガイド**

バージョン 9.30

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、77 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、ToolsCenter Suite のバージョン 9.30、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM System x
IBM ToolsCenter Suite
User's Guide
Version 9.30

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2012.

目次

本書について	v	「構成」機能の使用	33
規則および用語	v	よく使用する設定	35
資料および関連情報	vi	アクション	44
Web リソース	vii	フル設定	47
ご意見の送付方法	viii	「システム情報」機能の使用	57
		ライト・パス状況	58
		イベント・ログ情報	59
		フル・システム情報の収集	61
		IBM ToolsCenter Suite ファイル	67
本リリースでの新機能	ix		
第 1 章 技術的概要	1	第 5 章 トラブルシューティングおよびサ	
前提条件	2	ポート	69
第 2 章 ToolsCenter Suite サポート・リ		既知の制限	69
スト	3	回避策	69
ハードウェアおよびソフトウェアのサポート・リスト	3	注意	70
サポートされているハードウェア	3	ヘルプおよび技術援助の入手	71
サポートされているソフトウェア	4	連絡する前に	71
サポートされているオペレーティング・システム	4	資料の使用	72
		ヘルプおよび情報を WWW から入手する	72
		ソフトウェアのサービスおよびサポート	72
		ハードウェアのサービスおよびサポート	73
第 3 章 IBM ToolsCenter Suite のダウ		付録. IBM ToolsCenter	
ンロード	7	SuiteToolsCenter Suite のアクセシビリ	
IBM ToolsCenter Suite のダウンロード手順	7	ティー機能	75
第 4 章 IBM ToolsCenter Suite の使用	9	特記事項	77
IBM ToolsCenter Suite の開始	9	索引	81
IBM ToolsCenter Suite メニュー	12		
「更新」機能の使用	15		
推奨更新	17		
個別の更新	23		
「更新のダウンロード」の使用	29		

本書について

本書では、IBM® ToolsCenter Suite をダウンロードして使用方法について説明します。

規則および用語

本書でコマンドを入力するよう指示された場合は、コマンドを入力してから Enter を押します。

以下の特記事項では重要な情報を強調表示します。

注: これらの特記事項は重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを提供しません。

重要: これらの特記事項は、不都合なまたは困難な状態を避けるために役立つ情報またはアドバイスを提供します。また、これらの特記事項は、プログラム、デバイス、またはデータへの考えられる損傷を示します。損傷が起こりうる指示または状態の前には警告通知が表示されます。

次の表は、「*IBM ToolsCenter Suite ユーザーズ・ガイド*」およびグラフィカル・ユーザー・インターフェースで一般的に使用される頭字語の説明です。

表 1. 頭字語

頭字語	定義
BIOS	基本入出力システム
CNA	Converged Network Adapter
DIMM	デュアル・インライン・メモリー・モジュール
FoD	Features on Demand
FTP	ファイル転送プロトコル
HBA	ホスト・バス・アダプター
HTTP	Hypertext Transfer Protocol
iSCSI	Internet Small Computer System Interface
IPMI	Intelligent Platform Management Interface
IPMI SEL	Intelligent Platform Management Interface System Event Log
IMM	統合管理モジュール
KCS	Keyboard Controller StyleKeyboard
KMS	Key Management System
LED	発光ダイオード
MAC	メディア・アクセス制御
PCIE	Peripheral Component Interconnect Express
PXE	Preboot Execute Environment

表 1. 頭字語 (続き)

頭字語	定義
uEFI	Unified Extensible Firmware Interface
UTF8	8 ビット Unicode Transformation Format (8-bit Unicode Transformation Format)
UXSP	UpdateXpress システム・パック
VPD	重要プロダクト・データ
WoL	Wake on LAN

資料および関連情報

IBM ToolsCenter for System x[®] and BladeCenter[®] インフォメーション・センターにある IBM ToolsCenter Suite の一連のトピックで、PDF 文書と同じ内容を表示することができます。PDF ファイルを表示するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe Web サイト (www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html) から無料でダウンロードできます。

インフォメーション・センターおよびトピック・コレクション

- **IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter** インフォメーション・センター

<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/index.jsp>

IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter インフォメーション・センターは、ToolsCenter Suite を含む複数の IBM Systems x および BladeCenter ツールについて、統合された情報を提供します。

- **IBM ToolsCenter Suite**

http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/topic/itsc/itsc_main.html

ToolsCenter Suite の一連のトピックでは、ToolsCenter Suite をダウンロードして使用し、システム・ヘルス、インベントリーおよびその他の情報の収集と診断、サーバーのよく使用する設定およびフル設定の構成のほか、サーバーのファームウェアとドライバーの更新を行う方法について説明しています。

資料

- **ユーザーズ・ガイド**

この資料では、IBM ToolsCenter Suite をダウンロードして使用し、システム情報の収集、ファームウェア設定の構成、およびファームウェアの更新を行う方法について説明しています。

- **README**

この資料では、IBM ToolsCenter Suite のダウンロード情報、制限事項、および回避策について説明しています。

Web リソース

ToolsCenter Suite には、以下の Web サイトおよびインフォメーション・センターのトピックが関連しています。

Web サイト

- **IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter**

www.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/docdisplay?Indocid=TOOL-CENTER&brandind=5000016

この Web サイトは、IBM System x製品および IBM BladeCenter製品をサポートするツールをダウンロードする場合に表示します。

- **IBM ToolsCenter Suite**

<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=TOOL-TCSUITE>

この Web サイトは、IBM ToolsCenter Suite のツールおよび文書をダウンロードする場合に表示します。

- **IBM PureSystems Redbooks®**

<http://www.redbooks.ibm.com/portals/puresystems/>

この Web サイトは、IBM Flex System に関する発行済みの Redbook を検索する場合に表示します。

- 「**IBM System x Features on Demand の使用法**」 Redbook

<http://www.redbooks.ibm.com/abstracts/redp4895.html?Open>

この Web サイトは、資料「*IBM System x Features on Demand の使用法*」をダウンロードする場合に表示します。

- **IBM Flex Systems インフォメーション・センター**

http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/Overview?brandind=Hardware~Systems~System_x

この「IBM Flex System インフォメーション・センター」ページは、IBM Flex System x440 コンピュート・ノードのタイプ 7917 およびタイプ 2584 に関する追加情報を入手する場合に表示します。

- **IBM BladeCenter のサポート**

www-304.ibm.com/systems/support/supportsite.wss/brandmain?brandind=5000020

この Web サイトは、オンライン技術サポート、ダウンロード、およびドライバーに関する情報や RETAIN® のヒントを検索したり、IBM BladeCenter 製品に関するフィードバックを提供したりする場合に表示します。

- **IBM System x のサポート**

http://www-947.ibm.com/support/entry/portal/Overview?brandind=Hardware~Systems~System_x

この Web サイトは、オンライン技術サポート、ダウンロード、およびドライバに関する情報や RETAIN のヒントを検索したり、IBM System x 製品に関するフィードバックを提供したりする場合に表示します。

- **IBM ServerProven®**

www.ibm.com/servers/eserver/serverproven/compat/us/

この Web サイトは、IBM System x システムおよび IBM BladeCenter システムと IBM アプリケーションおよびミドルウェアとのハードウェアの互換性について情報を入手する場合に表示します。

フォーラム

- **IBM System x フォーラム**

www.ibm.com/developerworks/forums/forum.jspa?forumID=740

ibm.com® にあるこの Web サイトは、IBM System x のハードウェア製品およびソフトウェア製品に関するテクノロジー関連の問題および製品関連の問題について話し合うために使用できる各種フォーラムについて情報を入手する場合に表示します。この Web サイトには、RSS フィードを使用してフォーラムを取得するためのリンクも組み込まれています。

- **IBM BladeCenter フォーラム**

www.ibm.com/developerworks/forums/forum.jspa?forumID=819

ibm.com にあるこの Web サイトは、IBM BladeCenter のハードウェア製品およびソフトウェア製品に関するテクノロジー関連の問題および製品関連の問題について話し合うために使用できる各種フォーラムについて情報を入手する場合に表示します。この Web サイトには、RSS フィードを使用してフォーラムにアクセスするためのリンクも組み込まれています。

ご意見の送付方法

IBM にお客様のご意見をお寄せください。

本資料またはその他の IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter 資料に関するご意見やご感想をお持ちの場合:

- IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter インフォメーション・センター インフォメーション・センター Web サイト (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolscctr/v1r0/index.jsp>) にアクセスします。フィードバック・ページがあるので、そこにご意見やご感想を記入し、送信してください。

本リリースでの新機能

IBM ToolsCenter Suite 9.30 には、前リリース 9.22 以降の機能拡張が多数用意されています。

新規システム・サポート

IBM ToolsCenter Suite 9.30により、以下のハードウェアがサポートされるようになりました。

- IBM System x 3300 M4 (7382)

ハードウェアの詳しいサポート情報については、3 ページの『サポートされているハードウェア』を参照してください。

新規オペレーティング・システム・サポート

IBM ToolsCenter Suite 9.30 により、以下のオペレーティング・システムがサポートされるようになりました。

- Microsoft Windows Server 2012
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 3 Server (x86 & x64) Edition

オペレーティング・システムの詳しいサポート情報については、4 ページの『サポートされているオペレーティング・システム』を参照してください。

新規サーバー・オプション・サポート

なし。

修正された問題

IBM ToolsCenter Suite 9.30 では、以下の問題が修正されました。

- Configuration 機能の「Full Settings」オプションで、**DevicesandIOPorts.SetOptionROMExecutionOrder** 値を設定できない。
- Configuration 機能内の「System Contact of Frequently Used Settings」の下で、**RoomID** の値が NULL の場合に、**RoomID** テキスト入力ボックスが表示されない。

機能拡張

IBM ToolsCenter Suite 9.30ソフトウェアの追加言語に追加されたサポートは、以下のとおりです。

- ブラジル・ポルトガル語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 中国語 (簡体字)
- 韓国語

- スペイン語
- 中国語 (繁体字)

「IBM ToolsCenter Suite 9.30ユーザーズ・ガイド」、Readme、および Change History の追加言語に追加されたサポートは、以下のとおりです。

- ブラジル・ポルトガル語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 中国語 (簡体字)

既知の制限

IBM ToolsCenter Suite 9.30 には、以下の新しい制限があります。

Windows 64 ビット・オペレーティング・システム

すべての Windows 64 ビット・オペレーティング・システムで、生データを入手すると、Windows OS に関する論理装置テーブル情報が失われます。

「Full Settings」オプション

「Full Settings」オプションで、**Power.PowerPerformanceBias** の値を変更した場合、設定変更が正常に行われなくても、エラー・メッセージは報告されません。

回避策

一部の Windows オペレーティング・システムで IE を使用中に、Local ファイルからアクティベーション・キーをインストールする際にアクティベーション・キーのインストール進行中のページはありません。

回避策:

- Windows 2012 では、「サーバー マネージャ」 > 「ローカル サーバー」の下で、「IE セキュリティ強化の構成」をオフにします。
- Windows 2008 では、「Windows サーバー マネージャ」 > 「IE セキュリティ強化の構成」の下で、現行ユーザーについて「Internet Explore セキュリティ強化構成」をオフにします。
- Windows 2003 では、「スタート」メニューから「コントロール パネル」を開きます。「プログラムの追加と削除」をクリックし、次に、「Windows コンポーネントの追加/削除」をクリックします。「Internet Explorer セキュリティ強化の構成」オプションを選択解除して、「次へ」をクリックします。Windows により、このコンポーネントがアンインストールされます。

注意

Internet Explorer v10 (IE10) では、パスワード入力フィールドに目のアイコンが付くようになりました。目のアイコンを使用して、パスワード情報を読み取ることができます。これは、IE 10 の新しい機能です。

依存関係

なし。

第 1 章 技術的概要

IBM ToolsCenter Suite は、ご使用の IBM System x、IBM BladeCenter、および IBM Flex System環境の管理に役立つ一連のサーバー管理ツールです。

ToolsCenter Suite の主な機能は、以下の 3 つです。

System Information:

System Information 機能は、完全なシステム情報を収集し、この情報をカタログに入れ、収集された情報を IBM サポート・チームまたは顧客のサイト FTP サーバーに送信できるようにします。この機能は、IPMI SEL ログおよび Light-Path 情報を含むシステム・ヘルス状況も提供します。

ToolsCenter Suite は、システムの以下の側面に関する完全なシステム情報を収集します。

- ハードウェア
- ソフトウェア (オペレーティング・システムを含む)
- ログ
- 基本分析および特長

Configuration:

Configuration 機能は、ファームウェア設定を変更できるようにします。Frequently Used Settings (よく使用する設定) を変更したり、Full Settings (フル設定) で個別の構成を変更したりすることができます。

よく使用する設定:

- ブート順序
- IMM ユーザー・アカウント
- アクティベーション・キー管理 (Features on Demand 対応)
- システム・コンタクト
- エネルギーおよびパフォーマンス

フル設定:

- SYSTEM_PROD_DATA
- IMM
- iSCSI
- uEFI
- ネットワーク
- BootOrder
- PXE

Update:

Update 機能は、IBM Web サイトまたはローカル・リポジトリに接続することによって UpdateXpress System Pack のファームウェアとドライバー、および個々のファームウェアとドライバーを更新できるようにします。更新には、次の 3 つの方式があります。

- 推奨更新
- 個別の更新
- 更新のダウンロード

前提条件

ToolsCenter Suite では、以下の前提条件が必要です。

- ToolsCenter Suite を使用するための管理者特権または root と同等のオペレーティング・システム特権を持っている必要があります。
- IBM Web サイトから更新をダウンロードしたり、収集したシステム情報ファイルを IBM Web サイトまたは顧客のサイト FTP サーバーに送信したりするのに、インターネット接続が必要です。
- ToolsCenter Suite がサポートするブラウザー。サポートされるブラウザーの完全リストについては、「*IBM ToolsCenter Suite ユーザーズ・ガイド*」の『Support web browsers』のトピックをご覧ください。
- ToolsCenter Suite が正しく機能していることを確認するために、ご使用のブラウザー設定で JavaScript と CSS が使用可能になっていることを確認してください。
- ToolsCenter Suite を Windows Server 2003 で実行したい場合、IPMI KCS ドライバーをインストールする必要があります。これをインストールしないと、LED 状況やイベントなどの重要な情報が欠落するため、多くの機能が働きません。

第 2 章 ToolsCenter Suite サポート・リスト

ToolsCenter Suite の使用を開始する前に、ハードウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムのサポートのセクションを検討してください。

ハードウェアおよびソフトウェアのサポート・リスト

ToolsCenter Suite には、固有のハードウェア、オペレーティング・システム、およびブラウザのサポート・リストがあります。ToolsCenter Suite をリストにないサーバー、ブラウザ、またはオペレーティング・システムで実行する場合、機能する保証はありませんので、お客様の責任でご使用ください。

サポートされているハードウェア

IBM ToolsCenter Suite は、下記の表にリストされている IBM システムをサポートしています。

表 2. サポートされている IBM システム

サーバー	マシン・タイプ
IBM BladeCenter HS22	7870, 1936, 7809, 1911
IBM BladeCenter HS22V	7871, 1949
IBM BladeCenter HS23	7875, 1929
IBM BladeCenter HS23E	8038, 8039
IBM BladeCenter HX5	1909, 1910, 7872, 7873
Flex System x220 Compute Node	7906, 2585
Flex System x240 Compute Node	8737, 8738, 7863
Flex System x440 Compute Node	7917
System x iDataPlex® Direct Water Cooled dx360 M4 サーバー	7918, 7919
IBM System x iDataPlex dx360 M2 サーバー	7321, 6380, 7323
IBM System x iDataPlex dx360 M3	6391
IBM System x iDataPlex dx360 M4	7912, 7913
IBM System x 3100 M4	2582
IBM System x 3200 M3	7327, 7328
IBM System x 3250 M3	4251, 4252, 4261
IBM System x 3250 M4	2583
IBM System x3300 M4	7382
IBM System x 3400 M2	7836, 7837
IBM System x 3400 M3	7378, 7379
IBM System x 3500 M2	7839
IBM System x 3500 M3	7380
IBM System x3500 M4	7383
IBM System x3530 M4	7160

表 2. サポートされている IBM システム (続き)

サーバー	マシン・タイプ
IBM System x 3550 M2	7946, 4198
IBM System x 3550 M3	7944, 4254
IBM System x3550 M4	7914
IBM System x 3620 M3	7376
IBM System x 3630 M3	7377
IBM System x3630 M4	7158
IBM System x 3650 M2	7947, 4199
IBM System x 3650 M3	7945, 4255, 5454
IBM System x3650 M4	7915
IBM System x 3690 X5	7147, 7192
IBM System x 3690 X5	7148, 7149
IBM System x3750 M4	8722, 8733
IBM System x3850 X5 および x3950 X5	7143, 7191
IBM System x3850 X5 および x3950 X5	7145, 7146

サポートされているソフトウェア

このトピックでは、ToolsCenter Suite 用にサポートされているソフトウェアおよび Web ブラウザーについて説明します。

サポートされている Web ブラウザー

ToolsCenter Suite で収集された情報を表示するには、以下のいずれかの Web ブラウザーを使用する必要があります。

- Firefox 3.6 以降
- Google Chrome 19.0 以降
- Internet Explorer 8.0 Service Pack 1 以降

ToolsCenter Suite は、OS のデフォルト・ブラウザを使用します。ブラウザ構成を使用して特定のブラウザを使用する場合は、それをデフォルト・ブラウザとして構成してください。

サポートされているオペレーティング・システム

このセクションの情報をを使用して、ToolsCenter Suite 用にサポートされているオペレーティング・システムを識別します。

Windows

ToolsCenter Suite は、以下の Windows オペレーティング・システムをサポートしています。

Windows Server 2012 Edition

- Microsoft Windows Server 2012

Windows Server 2011 Edition

- Microsoft Windows Small Business Server 2011
- Microsoft Windows Small Business Server 2011 Essentials

Windows Server 2008 Edition

- Microsoft Windows Server 2008 R2
- Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1
- Microsoft Windows Server 2008 R2 HPC Edition (x64、 Reseller Option Kit)
- Microsoft Windows Server 2008 Datacenter Edition (x86、 x64)
- Microsoft Windows Server 2008 Enterprise Edition (x86、 x64)
- Microsoft Windows Server 2008 Foundation
- Microsoft Windows Server 2008 HPC Edition
- Microsoft Windows Server 2008 Standard Edition (x86、 x64)
- Microsoft Windows Server 2008 Web Edition (x86、 x64)
- Windows Essential Business Server 2008 Premium Edition
- Windows Essential Business Server 2008 Standard Edition

Windows Server 2003 Edition

- Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 Datacenter Edition (x86、 x64)
- Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 Enterprise Edition (x86、 x64)
- Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 Enterprise Edition with Microsoft Cluster Service (MSCS) (x86、 x64)
- Microsoft Windows Server 2003 Enterprise Edition with Microsoft Cluster Service (MSCS) (x86、 x64)
- Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 Standard Edition (x86、 x64)
- Microsoft Windows Server 2003 Web Edition

Linux

ToolsCenter Suite は、以下の Linux オペレーティング・システムをサポートしています。

Red Hat

- Red Hat Enterprise Linux 6 Server (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 1 Server (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 2 Server (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 3 Server (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 5 Server (x86 & x64) Edition (U6 まで)
- Red Hat Enterprise Linux 5 Server with Xen (x86 & x64) Edition (U6 まで)
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 8 Server (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 8 Server with Xen (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 7 Server (x86 & x64) Edition
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 7 Server with Xen (x86 & x64) Edition

SUSE

- SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86 & x64) SP2
- SUSE Linux Enterprise Server 11 with Xen (x86 & x64) SP2
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86 & x64) (SP1 まで)
- SUSE Linux Enterprise Server 11 with Xen (x86 & x64) (SP1 まで)
- SUSE Linux Enterprise Real Time 10 AMD64/EM64T

- SUSE Linux Enterprise Server 10 (x86 & x64) (SP4 まで)
- SUSE Linux Enterprise Server 10 with Xen (x86 & x64) (SP4 まで)

第 3 章 IBM ToolsCenter Suite のダウンロード

このセクションでは、ToolsCenter Suite のダウンロードについて説明します。

IBM ToolsCenter Suite のダウンロード手順

ToolsCenter Suite は、インストールする必要がない自己解凍型アプリケーションです。

このタスクについて

ToolsCenter Suite は IBM ToolsCenter SuiteWeb サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-TCSUITE>) からダウンロードできます。

手順

1. 以下の出荷パッケージのいずれかを選択します。
 - `ibm_utl_tcsuite_9.30_winsrvr_i386.zip`
 - `ibm_utl_tcsuite_9.30_winsrvr_x86-64.zip`
 - `ibm_utl_tcsuite_9.30_rhel5_i386.tgz`
 - `ibm_utl_tcsuite_9.30_rhel5_x86-64.tgz`
 - `ibm_utl_tcsuite_9.30_rhel6_i386.tgz`
 - `ibm_utl_tcsuite_9.30_rhel6_x86-64.tgz`
 - `ibm_utl_tcsuite_9.30_sles10_i386.tgz`
 - `ibm_utl_tcsuite_9.30_sles10_x86-64.tgz`
 - `ibm_utl_tcsuite_9.30_sles11_i386.tgz`
 - `ibm_utl_tcsuite_9.30_sles11_x86-64.tgz`
2. 適切な ToolsCenter Suite zip ファイルをダウンロードしたら、ダウンロードしたファイルを解凍します。

第 4 章 IBM ToolsCenter Suite の使用

このセクションでは、IBM ToolsCenter Suite の使用について説明します。

IBM ToolsCenter Suite の開始

ターゲット・サーバーに適した ToolsCenter Suite zip ファイルをダウンロードしてコピーし、ファイルを解凍したら、IBM ToolsCenter Suite プログラムを開始できます。ToolsCenter Suite は、ターゲット・サーバー上で実行する必要があります。

このタスクについて

Windows の場合はステップ 1 を実行し、Linux の場合はステップ 2 (10 ページ) を実行します。

注: ToolsCenter Suite では、ToolsCenter Suite の並行セッションの実行はサポートしていません。詳しくは、『既知の制限』のトピックを参照してください。

手順

1. Windows の場合は、**run.bat** をダブルクリックします。ToolsCenter Suite スクリプト・ファイルは、Tomcat サーバーを起動し、`http://localhost:8483/tcsuite.html` を使用してデフォルトのブラウザを開始します。「ToolsCenter Suite ご使用条件」ページが表示されます。



図 1. ご使用条件

- Linux の場合は、**run.sh** をダブルクリックします。ToolsCenter Suite スクリプト・ファイルは、Tomcat サーバーを起動し、<http://localhost:8483/tcsuite.html> をポイントしてデフォルトのブラウザを開始します。上記のような「ToolsCenter Suite ご使用条件」ページが表示されます。
- ご使用条件を読み、「同意する」をクリックします。IBM ToolsCenter Suite のウェルカム・ページが表示されます。



上級者向け全ツール・リスト (コマンドライン対応)

図2. ウェルカム・ページ

ウェルカム・ページでは、ご使用のマシン名とマシン・タイプ/モデルが表示され、IBM ToolsCenter Suiteの機能およびメニュー項目にアクセスすることができます。

4. 「上級者向け全ツール・リスト」をクリックして、コマンド行ツールとデプロイメント・ツールのリストを表示します。



図3. 上級者向け全ツール・リスト

このページには、これらのツールそれぞれの IBM サポート・ページへのリンクが用意されています。

IBM ToolsCenter Suite メニュー

このセクションでは、IBM ToolsCenter Suite メニューの概要について説明します。

メニュー項目

ToolsCenter Suite グラフィカル・ユーザー・インターフェースには以下のメニュー・オプションがあります。

- **設定:** インターネット接続設定、および終了オプションとタイムアウト設定からなるその他の設定を構成するには、「設定」を使用します。詳しくは、『インターネット接続の設定』および 13 ページの『その他の設定』を参照してください。
- **製品情報:** 「製品情報」は、ToolsCenter Suite のバージョン、IBM ToolsCenter Suite Web サイト・リンク、および「ご使用条件」リンクに関する情報を提供します。
- **終了:** ToolsCenter Suite プログラムを終了します。このアプリケーションを終了するには、2 つのオプションがあります。詳しくは、14 ページの『終了オプション』を参照してください。

インターネット接続の設定

このトピックでは、インターネット接続を表示および構成する方法について説明します。「システム情報」機能の**IBM への送信**と**FTP への送信**のオプション、およびプロキシを介した「更新」にプロキシ設定を使用できます。プロキシは、HTTP プロキシにしてください。IBM ToolsCenter Suite は HTTP プロキシと接続するために、**HTTP/1.1 CONNECT** 方式と UTF-8 エンコードおよびパッシブ FTP モードを使用します。

手順

1. IBM ToolsCenter Suite 画面の右上のセクションにある「設定」メニュー・オプションをクリックします。「設定」ダイアログ・ボックスが表示されます。
2. 「インターネット接続」タブをクリックします。
3. 以下のいずれかのインターネット・アクセス・オプションをクリックして選択します。
 - a. **管理サーバーはプロキシ設定なしでインターネットにアクセスできます。:** 「IP アドレスまたはホスト名」、「ポート」、「ユーザー名」、および「パスワード」の各フィールドは、ぼかし表示になります。
 - b. **管理サーバーはインターネットにアクセスするためにプロキシ・サーバーを必要とします:** このオプションの場合は、以下の手順を実行します。
 - 1) 「IP アドレスまたはホスト名」を入力します。
 - 2) 「ポート」を入力します。デフォルト・ポートは 21 です。
 - 3) 「認証が必要」をクリックします。これにより、認証フィールドが使用可能になります。

以下の情報を入力します。

- 「ユーザー名」を入力します。
- 「パスワード」を入力します。

4. 「インターネット接続のテスト」をクリックします。この操作により、インターネット接続が機能しているかどうかを検査されます。



図4. メニュー設定 - インターネット接続のテスト

5. 「OK」をクリックして「設定」を保存して終了するか、「キャンセル」をクリックします。

その他の設定

このトピックでは、終了オプションおよびタイムアウト設定を表示および変更する方法について説明します。

手順

1. IBM ToolsCenter Suite 画面の右上のセクションにある「設定」メニュー・オプションをクリックします。
2. 「その他」タブをクリックします。このタブには、終了オプションおよびタイムアウト設定が表示されます。デフォルトの設定値を使用するか、それらを変更するかを選択できます。詳しくは、14 ページの『終了オプション』、および 14 ページの『タイムアウト設定』を参照してください。

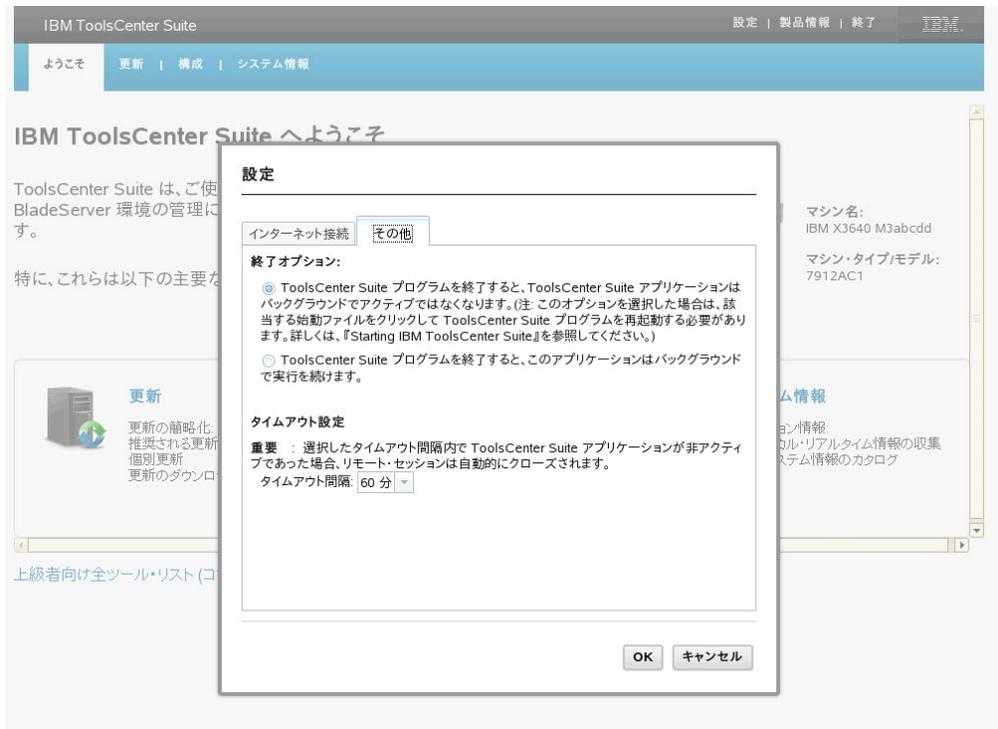


図5. メニュー設定 - その他の設定

3. これらの設定の変更が終了したら、「OK」をクリックして「設定」を保存して終了するか、「キャンセル」をクリックします。

終了オプション:

このタスクについて

IBM ToolsCenter Suite には、2 つの終了オプションがあります。デフォルトでは、2 番目のオプションが選択されます。

1. 以下の 2 つの終了オプションのいずれかをクリックして選択します。
 - ToolsCenter Suite プログラムを終了すると、このアプリケーションはバックグラウンドで実行を続けます。
 - ToolsCenter Suite プログラムを終了すると、ToolsCenter Suite アプリケーションはバックグラウンドでアクティブではなくなります。

注: このオプションを選択した場合は、該当する始動ファイルをクリックして ToolsCenter Suite プログラムを再起動する必要があります。詳しくは、9 ページの『IBM ToolsCenter Suite の開始』を参照してください。

2. 「OK」をクリックして終了オプションの変更を保存するか、「キャンセル」をクリックします。

タイムアウト設定:

このタスクについて

IBM ToolsCenter Suite には、いくつかのタイムアウト・オプションがあります。デフォルトのタイムアウト設定は 60 分です。

1. ドロップダウン・メニューから、以下のいずれかのタイムアウト間隔オプションをクリックして選択します。
 - タイムアウトなし
 - 10 分
 - 20 分
 - 40 分
 - 60 分
 - 90 分
 - 120 分
2. 「OK」をクリックしてタイムアウト設定の変更を保存するか、「キャンセル」をクリックします。

重要: 選択したタイムアウト間隔の間、ToolsCenter Suite アプリケーションが非アクティブであった場合、実行中のセッションは自動的にクローズされます。

「更新」機能の使用

「更新」機能を使用すると、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーを更新し、新規システム用にサポートを追加することができます。このセクションでは、ファームウェアとドライバーのコンプライアンスを検査する方法と、更新をダウンロードしてインストール方法について説明します。

手順

1. ウェルカム・ページで、または ToolsCenter Suite メニューから、「更新」をクリックして選択します。

「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページが表示されます。



図 6. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」 ページ

注: 疑問符の上にマウスを移動すると、その更新に関する追加情報が表示されません。

2. いずれかの更新オプションをクリックして選択します。

- **推奨更新:** UpdateXpress System Pack の最新のファームウェア・レベルとドライバー・レベルを検査し、IBM Web サイトからまたはローカル・ディレクトリー内のローカル・マシンにインストールされたファームウェア・レベルおよびドライバー・レベルと比較します。IBM Web サイトからファームウェア更新とドライバー更新を選択的にダウンロードして適用するか、ローカル・ディレクトリーからファームウェア更新とドライバー更新を選択的に適用することができます。
- **個別更新:** ファームウェア・レベルとドライバー・レベルを検査し、現在インストールされているファームウェアおよびドライバーを IBM Web サイト上またはローカル・ディレクトリー内の個別更新と比較します。IBM Web サイトからファームウェア更新とドライバー更新を選択的にダウンロードして適用するか、ローカル・ディレクトリーからファームウェア更新とドライバー更新を選択的に適用することができます。
- **更新のダウンロード:** 特定のマシン・タイプおよびオペレーティング・システム用の UpdateXpress System Pack または個別更新パッケージをダウンロードします。更新は指定したディレクトリーにダウンロードされ、いつでも適用できます。

ヒント: 実験用マシン A のファームウェアまたはドライバーを更新する必要があり、そのマシンがインターネットにアクセスできない場合でも、更新をダウンロードして適用することができます。インターネットにアクセスできる実

験用マシン B を使用して、実験用マシン A 用の更新パッケージをダウンロードすることができます。以下の 2 つの方法のいずれかを使用します。最初の方式の方が簡単であり、推奨されています。

- a. 実験用マシン B 上の ToolsCenter Suite 作業ディレクトリー全体を実験用マシン A にコピーします。実験用マシン A で ToolsCenter Suite を起動します。ローカル・ディレクトリーから更新を実行できます。
- b. 実験用マシン A に ToolsCenter Suite ソフトウェアがある場合は、実験用マシン B 上の ToolsCenter Suite 作業ディレクトリーにあるダウンロードされた更新パッケージを、実験用マシン A 上の ToolsCenter Suite 作業ディレクトリーにコピーします。実験用マシン A で ToolsCenter Suite を起動します。ローカル・ディレクトリーから更新を実行できます。

推奨更新

このオプションは、ファームウェアおよびドライバーのレベルを検査し、更新のパッケージを適用します。このオプションは、サーバーのファームウェアおよびドライバーの更新を取得するための優先される方法です。UpdateXpress System Pack は更新可能ファームウェアとデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みソフトウェア・バンドルで構成されており、IBM System x および IBM BladeCenter の各サーバーを対象としています。

手順

1. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「**推奨更新**」をクリックします。「現在のファームウェアおよびドライバーのレベルを確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。
2. 以下の「推奨更新」のオプションのいずれかを選択します。

IBM Web サイトからの最新の UXSP 更新パッケージの使用

このオプションを使用して、IBM Web サイトから UpdateXpress System Pack 更新をダウンロードし、適用します。

手順

1. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「**推奨更新**」をクリックします。「現在のファームウェアおよびドライバーのレベルを確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。

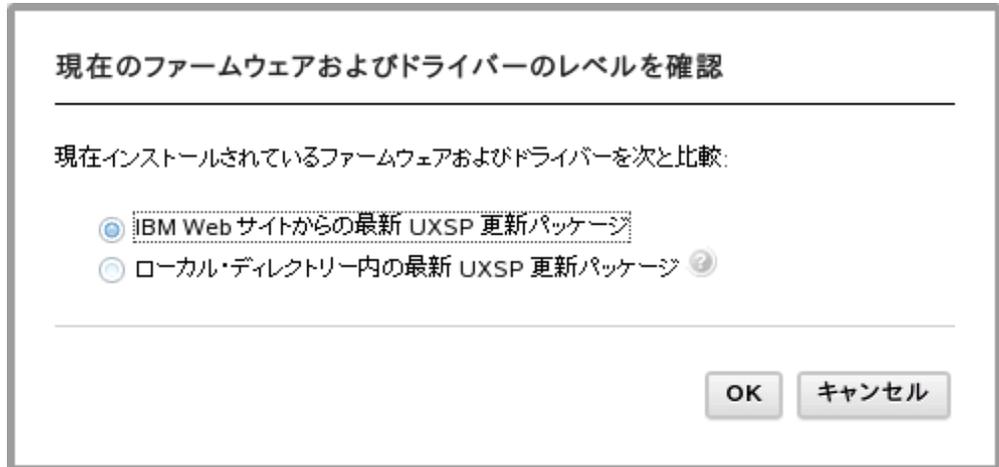


図7. IBM Web サイトからの現行のファームウェアおよびドライバーのレベルの確認

2. 「IBM Web サイトからの最新 UXSP 更新パッケージ」をクリックし、「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。現行マシンの UXSP ファームウェアおよびドライバーのレベルが IBM Web サイトから取得されます。



図8. 現行マシンの UXSP ファームウェアおよびドライバーのレベルの取得

取得操作中、進行中アイコンが表示され、「更新」ページはロックされ、「キャンセル」が使用可能になり、次のメッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを取得中です。お待ちください。

取得操作が完了した後、コンプライアンス検査操作が開始されます。



図9. 現行マシンの UXSP ファームウェアおよびドライバーのレベルの検査

コンプライアンス検査操作が機能している間、「更新」ページはロックされ、「キャンセル」が使用不可になり、次のメッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを確認中です。お待ちください。

注: インターネットに接続していない場合は、「インターネット接続の構成 (Configure Internet Connection)」ダイアログ・ボックスが表示されます。構成を検査するか再試行します。あるいは、「OK」をクリックして続行するか、「キャンセル」をクリックします。詳しくは、12 ページの『インターネット接続の設定』を参照してください。

コンプライアンス検査が完了すると、新しいバージョンの項目の数がファームウェアおよびドライバーの更新のテーブルに表示されます。



図 10. 推奨更新 UXSP ファームウェアおよびドライバーの更新のテーブル

このテーブルにリストされるすべての更新にはチェック・マークが付いており、更新用に事前選択されています。デフォルトでは各更新にチェック・マークが付いていますが、選択を解除することができます。このテーブルは、リストされている各更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
- 重大度: 「推奨 (Suggested)」、「クリティカル」、「必須ではない (Not required)」のいずれか
- 新規バージョン: 新規バージョン ID
- インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出
- リポートが必要: 「はい」 - 更新のためにリポートが必要、または「いいえ」 - 更新のためにリポートは不要

HBA/CNA 更新テーブルは、テーブルにリストされる各更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
- 重大度: 「推奨 (Suggested)」、「クリティカル」、「必須ではない (Not Required)」のいずれか
- 新規バージョン: 新規バージョン ID
- インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出
- リポートが必要: 「はい」 - 更新のためにリポートが必要、または「いいえ」 - 更新のためにリポートは不要

3. 「更新を続行」をクリックして、UXSP 更新を IBM Web サイトからダウンロードし、ダウンロードしたファームウェアおよびドライバーを適用するか、「キ

キャンセル」をクリックして更新の最初のページに戻ります。ダウンロード操作中、状況は「開始されていない」、「ダウンロード中」、「ダウンロード済み」のいずれかになります。ダウンロードされている項目の進行状況表示バーが表示され、その合計バイト数、ダウンロードされたバイト数、およびダウンロードされたパーセンテージが示されます。別の進行状況表示バーには、すべてのダウンロード項目の全体的な進行状況が表示されます。現在ダウンロード中の項目を中止するには、「停止」をクリックします。



図 11. 推奨更新 UXSP の IBM Web サイトからのダウンロード

ダウンロード操作が完了すると、更新操作が開始されます。次のメッセージが表示されます。

更新が進行中です。
x/y 個の項目が更新されました。
更新が進行中の間は、ブラウザを閉じないでください。

更新操作中、進行中アイコンが表示されます。

更新操作が完了すると、テーブルに更新の状況が示されます。タイム・スタンプは、更新操作が完了した時刻を示しています。

4. 「更新の最初のページに戻る」をクリックして、更新の最初のページに戻ります。

ローカル・ディレクトリー内の UXSP 更新パッケージの使用

UXSP または個別更新がローカル・ディレクトリーにあり、それらを適用する場合は、このオプションを使用します。

手順

1. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「推奨更新」をクリックします。

2. 「ローカル・ディレクトリー内の最新 UXSP 更新パッケージ」および「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。

重要: 疑問符の上にマウスを移動すると、次のメッセージが表示されます。

既にローカル UXSP (または個別) 更新がある場合は、それらを次のフォルダーに手動でコピーしてください:

`%ToolsCenterSuite%\apache-tomcat-7.0.26\webapps`

`%tcsuite%\WEB-INF\depot\Update%\MachineType%`

`%OperatingSystem%\uxsp` (または individual)。

`%ToolsCenterSuite%` は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーです。

`%MachineType%` はサーバーの 4 桁のマシン・タイプで、選択されたマシン・タイプを表しています。`%OperatingSystem%` はサーバーのオペレーティング・システムです。例えば、以下ようになります。`%ToolsCenterSuite%\apache-tomcat-7.0.26\webapps\tcsuite%\WEB-INF\depot\Update\1936\windows\uxsp`。

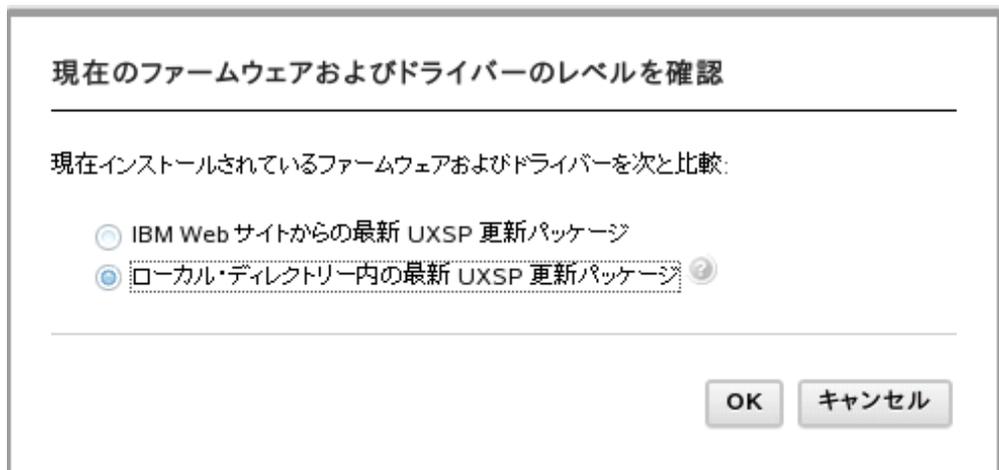


図 12. ローカル・ディレクトリーにある最新 UXSP 更新パッケージを使用した現行のファームウェア・レベルとドライバー・レベルの検査

コンプライアンス検査操作が機能している間、「更新」ページはロックされ、「キャンセル」が使用不可になり、次のメッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを確認中です。お待ちください。

操作が完了すると、ファームウェア更新とドライバー更新が入っているテーブルが表示されます。デフォルトでは各更新にチェック・マークが付いていますが、選択を解除することができます。

ファームウェア更新とドライバー更新のテーブルは、テーブルにリストされる各更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
- 重大度: 「推奨 (Suggested)」、「クリティカル」、「必須ではない (Not Required)」のいずれか
- 新規バージョン: 新規バージョン ID
- インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出

- リポートが必要: 「はい」 - 更新のためにリポートが必要、または「いいえ」 - 更新のためにリポートは不要

HBA/CNA 更新テーブルは、テーブルにリストされる各更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
 - 重大度: 「推奨 (Suggested)」、「クリティカル」、「必須ではない (Not Required)」のいずれか
 - 新規バージョン: 新規バージョン ID
 - インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出
 - リポートが必要: 「はい」 - 更新のためにリポートが必要、または「いいえ」 - 更新のためにリポートは不要
3. 「更新を続行」をクリックして、ローカル・ディレクトリーからUXSP をインストールするか、「キャンセル」をクリックして更新の最初のページに戻ります。

更新操作中、進行中アイコンが表示されます。

更新が進行中です。
x/y 個の項目が更新されました。
更新が進行中の間は、ブラウザを閉じないでください。

各更新の状況が「保留 (Pending)」、「更新中」、「更新済み」、「失敗」のいずれかとして表示されます。

更新操作が完了すると、テーブルに更新の状況が示されます。タイム・スタンプは、更新操作が完了した時刻を示しています。

4. 「更新の最初のページに戻る」をクリックして、更新の最初のページに戻ります。

個別の更新

このオプションを使用して、最新バージョンの各ファームウェアおよびデバイス・ドライバー・パッケージを取得します。この方法は、個別更新をインストールする場合、または IBM サポートから個別更新をインストールするよう指示されたときに使用できます。「個別更新」オプションでは、「UpdateXpress System Pack/推奨更新」オプションより新しい更新およびホット・フィックス (使用可能な場合) がダウンロードされる場合があります。現在インストール済みのファームウェアおよびドライバーを調べて、IBM Web サイトにある個別更新と比較するか、個別更新をローカル・ディレクトリーからインストールすることができます。

手順

1. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「個別更新」をクリックします。「現在のファームウェアおよびドライバーのレベルを確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。
2. 以下のいずれかの「個別更新」のオプションを選択します。

IBM Web サイトからの個別更新の使用

このオプションを使用して、IBM Web サイトから個別のファームウェア更新およびドライバー更新をダウンロードし、適用します。

手順

1. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」 ページで「個別更新」をクリックします。「現在のファームウェアおよびドライバーのレベルを確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。

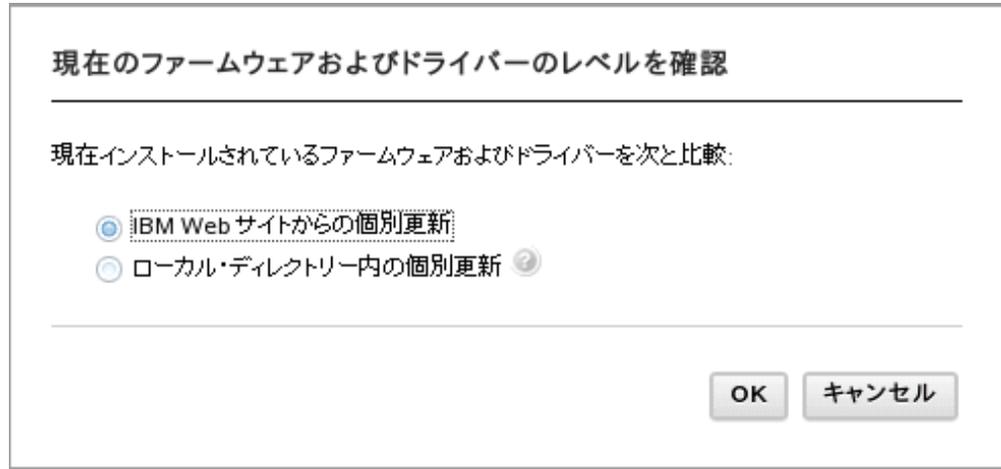


図 13. IBM Web サイトからの現行のファームウェア・レベルとドライバー・レベルの個別更新の検査

2. 「IBM Web サイトからの個別更新」をクリックし、「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。

現行マシンの個別のファームウェア・レベルとドライバー・レベルが IBM Web サイトから取得されます。取得操作中、「キャンセル」が使用可能になり、次のメッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを取得中です。お待ちください。

取得操作が完了した後、コンプライアンス検査操作が開始されます。コンプライアンス検査操作が機能している間、「更新」ページはロックされ、「キャンセル」が使用不可になり、次のメッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを確認中です。お待ちください。

コンプライアンス検査が完了すると、新しいバージョンの項目の数がファームウェア更新およびドライバー更新のテーブルの上に表示されます。

IBM ToolsCenter Suite 設定 | 製品情報 | 終了

ようこそ **更新** | 構成 | システム情報

ファームウェアおよびドライバーの更新

現在のファームウェアおよびドライバーのコンプライアンスを確認し、それに応じて更新を行います。

コンプライアンス検査が完了しました。

▼ コンプライアンス検査が完了しました。

	名前	重大度	新規バージョン	インストール済みバージョン	レポートが必要
<input type="checkbox"/>	brcm_dd_nic_nx2-2.2.1j-1.72.18_sles10_32-64	Not Required			はい
<input type="checkbox"/>	bnx2x.ko (stopped)		1.72.18	1.62.00-3	
<input type="checkbox"/>	bnx2.ko (stopped)		2.2.1j	2.0.18-suse	
<input checked="" type="checkbox"/>	brcm_dd_nic_tg3-3.122o_sles10_32-64	Not Required			はい
<input type="checkbox"/>	tg3.ko (stopped)		3.122o	3.114b	
<input type="checkbox"/>	brcd_dd_nic_bna-3.0.0.0_sles10_32-64	Not Required			はい
<input type="checkbox"/>	bna.ko (stopped)		3.0.0.0	2.3.2.1	
<input type="checkbox"/>	brcd_dd_fc_bfa-3.0.0.0_sles10_32-64	Not Required			はい
<input type="checkbox"/>	bfa.ko (stopped)		3.0.0.0	2.3.2.1	

図 14. 個別更新のファームウェア更新とドライバー更新のテーブル

このテーブルは、リストされている各更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
 - 重大度: 「推奨 (Suggested)」、「クリティカル」、「必須ではない (Not Required)」のいずれか
 - 新規バージョン: 新規バージョン ID
 - インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出
 - レポートが必要: 「はい」 - 更新のためにレポートが必要、または「いいえ」 - 更新のためにレポートは不要
3. 左の列の更新をクリックして選択し、「更新を続行」をクリックして更新プロセスを続行して更新をダウンロードするか、「キャンセル」をクリックして、更新の最初のページに戻ります。

ダウンロード操作中、進行状況表示バーが表示されて現在ダウンロード中の項目の進行状況が示され、その合計バイト数、ダウンロードされたバイト数、およびダウンロードされたパーセンテージが示されます。別の進行状況表示バーには、すべてのダウンロード項目の全体的な進行状況が表示されます。テーブルにリストされた更新には、状況が「開始されていない」、「ダウンロード中」、および「ダウンロード済み」のいずれかとして表示されます。現在ダウンロード中の項目を中止するには、「停止」をクリックします。



図 15. IBM Web サイトからダウンロード中の個別更新

ファームウェアとドライバーのすべてがダウンロードされると、更新が開始されます。

更新操作中、進行中アイコンが表示されます。

更新が進行中です。
 x/y 個の項目が更新されました。
 更新が進行中の間は、ブラウザーを閉じないでください。

各更新の状況が表示されます。



図 16. IBM Web サイトから更新中の個別更新

更新操作が完了すると、テーブルに更新の状況が示されます。タイム・スタンプは、更新操作が完了した時刻を示しています。

4. 「更新の最初のページに戻る」をクリックして、更新の最初のページに戻ります。

「ローカル・ディレクトリー内の個別更新」の使用

既に更新 (UXSP または個別) がローカル・ディレクトリーにあり、それらを適用する場合は、このオプションを使用します。

手順

1. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」 ページで「個別更新」をクリックします。

「現在のファームウェアおよびドライバーのレベルを確認」 ダイアログ・ボックスが表示されます。

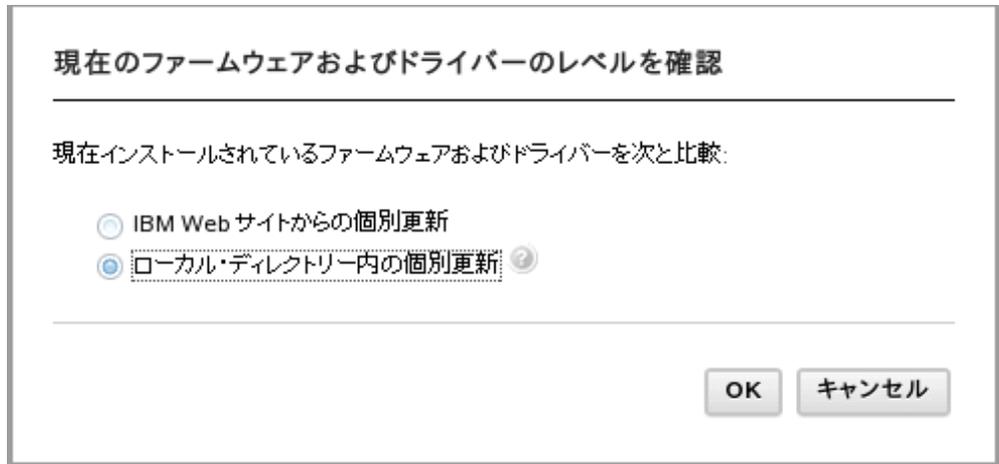


図 17. 「ローカル・ディレクトリー内の個別更新」オプション

2. 「ローカル・ディレクトリー内の個別更新」および「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。

重要: 疑問符の上にマウスを移動すると、次のメッセージが表示されます。

既にローカル UXSP (または個別更新) がある場合は、それらを次のフォルダーに手動でコピーしてください:

`%ToolsCenterSuite%\apache-tomcat-7.0.26\webapps`

`%tcsuite%\WEB-INF\depot\Update\%MachineType%`

`%OperatingSystem%\uxsp` (または `individual`)。

`%ToolsCenterSuite%` は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーです。

`%MachineType%` はサーバーの 4 桁のマシン・タイプで、選択されたマシン・タイプを表しています。 `%OperatingSystem%` はサーバーのオペレーティング・システムです。例えば、以下のようになります。

`%ToolsCenterSuite%\apache-tomcat-7.0.26\webapps\tcsuite%\WEB-INF\depot\Update\1936\windows\individual`。

コンプライアンス検査が実行されている間、「更新」ページはロックされ、「キャンセル」ボタンは使用不可になり、次のメッセージが表示されます。

ToolsCenter Suite がファームウェアおよびドライバーのレベルを確認中です。お待ちください。

コンプライアンス検査が完了すると、新しいバージョンの項目の数がファームウェア更新およびドライバー更新のテーブルの上に表示されます。このテーブルは、リストされている各更新について、以下の情報を提供します。

- 名前: 更新の名前
- 重大度: 「初期リリース (Initial Release)」、「推奨 (Suggested)」、「クリティカル」、「必須ではない (Not Required)」のいずれか
- 新規バージョン: 新規バージョン ID
- インストール済みバージョン: 現行バージョン ID または非検出
- リポートが必要: 「はい」 - 更新のためにリポートが必要、または「いいえ」 - 更新のためにリポートは不要

3. 左の列の更新をクリックして選択し、「更新を続行」をクリックして更新プロセスを続行するか、「キャンセル」をクリックして、更新の最初のページに戻ります。

更新操作中、進行中アイコンが表示されます。

更新が進行中です。
x/y 個の項目が更新されました。
更新が進行中の間は、ブラウザを閉じないでください。

更新アイコンの下に、各更新の状況が「保留 (Pending)」、「更新中」、「更新済み」、「失敗」のいずれかとして表示されます。

更新操作が完了すると、更新された項目の数および更新が完了した時刻が表示されます。

4. 「更新の最初のページに戻る」をクリックして、更新の最初のページに戻ります。

「更新のダウンロード」の使用

このオプションを使用して、特定のマシン・タイプおよびオペレーティング・システム用の UpdateXpress System Pack または個別更新パッケージをダウンロードします。更新は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーにダウンロードされ、ユーザーによる更新の適用の準備が整うまで、そのディレクトリーに保管されます。適用する際には、「ローカル・ディレクトリー内の推奨される更新 (Recommended updates in a local directory)」オプションを使用するか、「ローカル・ディレクトリー内の個別更新」オプションを使用します。

IBM Web サイトから UXSP をダウンロード

手順

1. 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「更新のダウンロード」をクリックします。

「ファームウェア/ドライバーのダウンロード」ページが表示されます。



図 18. IBM Web サイトから UXSP 更新をダウンロード

2. マシン・タイプとオペレーティング・システムをそれぞれのドロップダウン・メニューからクリックして選択するか、「キャンセル」をクリックして更新の最初のページに戻ります。
3. 「IBM Web サイトから UXSP をダウンロード」をクリックします。

選択したパッケージは、次のディレクトリーにダウンロードされます。
`%ToolsCenterSuite%\apache-tomcat-7.0.26\webapps\tcsuite\WEB-INF\depot\Update%\MachineType%\%OperatingSystem%\uxsp.`

`%ToolsCenterSuite%` は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーです。
`%MachineType%` はサーバーの 4 桁のマシントイプで、選択されたマシン・タイプを表しています。`%OperatingSystem%` はサーバーのオペレーティング・システムです。例えば、以下のようになります。

`%ToolsCenterSuite%\apache-tomcat-7.0.26\webapps\tcsuite\WEB-INF\depot\Update\1936\windows\uxsp.`

4. 「ダウンロード」をクリックして、選択したマシン・タイプおよびオペレーティング・システム用の更新をダウンロードします。

更新は、ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーにダウンロードされます。どの更新も適用はされません。後でこのツールを使用して、IBM Web サイトからではなく、ローカル・ディレクトリーからの個別更新を指示することにより、これらの更新を適用することができます。

ダウンロード操作中、進行状況表示バーが表示されて現在ダウンロード中の項目の進行状況が示され、その合計バイト数、ダウンロードされたバイト数、および

ダウンロードされたパーセンテージが示されます。別の進行状況表示バーには、すべてのダウンロード項目の全体的な進行状況が表示されます。現在ダウンロード中の項目を中止するには、「停止」をクリックします。

各ダウンロードの状況が、「開始されていない」、「ダウンロード中」、「ダウンロード済み」のいずれかとして表示されます。

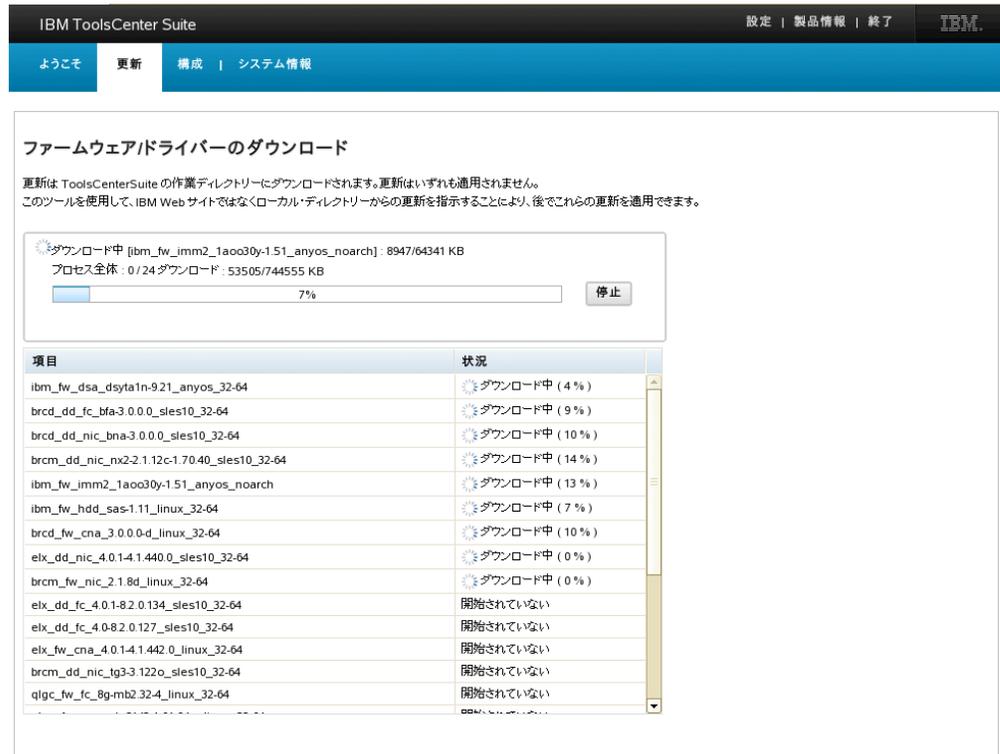


図 19. IBM Web サイトからの UXSP 更新のダウンロードの進行状況

- すべての項目についてダウンロードが完了したら、「更新の最初のページに戻る」をクリックして、更新の最初のページに戻ります。

IBM Web サイトからファームウェア/ドライバーを個別にダウンロード

手順

- 「ファームウェアおよびドライバーの更新」ページで「更新のダウンロード」をクリックします。

「ファームウェア/ドライバーのダウンロード」ページが表示されます。



図 20. IBM Web サイトからの個別更新のダウンロード

- マシン・タイプとオペレーティング・システムをそれぞれのドロップダウン・メニューからクリックして選択するか、「キャンセル」をクリックして更新の最初のページに戻ります。
- 「IBM Web サイトからファームウェアドライバを個別にダウンロード」をクリックします。

選択したパッケージは、次のディレクトリーにダウンロードされます。

```
%ToolsCenterSuite%\apache-tomcat-7.0.26\webapps\tcsuite\WEB-INF\depot\Update%\MachineType%\%OperatingSystem%\individual.
```

%ToolsCenterSuite% は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーです。

%MachineType% はサーバーの 4 桁のマシントypeで、選択されたマシン・タイプを表しています。%OperatingSystem% はサーバーのオペレーティング・システムです。例えば、以下のようになります。%ToolsCenterSuite%\apache-tomcat-7.0.26\webapps\tcsuite\WEB-INF\depot\Update\1936\windows\individual.

- 「ダウンロード」をクリックして、選択したマシン・タイプおよびオペレーティング・システム用の更新をダウンロードします。

更新は、ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーにダウンロードされます。どの更新も適用はされません。後でこのツールを使用して、IBM Web サイトからではなく、ローカル・ディレクトリーからの個別更新を指示することにより、これらの更新を適用することができます。

ダウンロード操作中、進行状況表示バーが表示されて現在ダウンロード中の項目の進行状況が示され、その合計バイト数、ダウンロードされたバイト数、および

ダウンロードされたパーセンテージが示されます。別の進行状況表示バーには、すべてのダウンロード項目の全体的な進行状況が表示されます。現在ダウンロード中の項目を中止するには、「停止」をクリックします。

各ダウンロードの状況が、「開始されていない」、「ダウンロード中」、「ダウンロード済み」のいずれかとして表示されます。



図 21. IBM Web サイトからの個別更新のダウンロードの進行状況

- すべての項目についてダウンロードが完了したら、「更新の最初のページに戻る」をクリックして、更新の最初のページに戻ります。

「構成」機能の使用

「構成」機能を使用して、ご使用のシステムの 1 つまたは複数の設定を表示および変更することができます。このセクションでは、個別の設定やよく使用する設定を表示および構成する方法、またはフル構成を実行する方法について説明します。

「構成」機能を使用すると、IBM System x の IMM ベースおよび uEFI ベースのサーバーの設定を変更できます。IMM は、IMM ベースのサーバー上でリモート管理アダプター機能およびベースボード管理コントローラー機能に代わって機能します。uEFI は基本入出力システム (BIOS) に代わるもので、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、および外部デバイス間の標準インターフェースを定義しています。

手順

- ウェルカム・ページで、または ToolsCenter Suite メニューから、「構成」をクリックして選択します。「構成の概要」ページが表示されます。



図 22. 構成の概要

2. 「更新の概要」ページで、いずれかの構成オプションをクリックして選択します。

右ペインには、以下のセクションが含まれています。

- よく使用する設定
 - ブート順序
 - IMM ユーザー・アカウント
 - アクティベーション・キー管理
 - システム・コンタクト
 - エネルギーおよびパフォーマンス
- アクション
 - エクスポート
 - インポート
 - 出荷時のデフォルト値にリセット
- フル設定: 構成設定の続きを表示するには、「フル設定」 > 「すべて」をクリックします。

ナビゲーション・メニューから、以下のいずれかの構成オプションをクリックして選択することもできます。

- よく使用する設定
 - ブート順序

- IMM ユーザー・アカウント
- アクティベーション・キー管理
- システム・コンタクト
- エネルギーおよびパフォーマンス
- **フル設定:** 表示されるフル設定は、マシン・タイプによって異なります。次のリストで、フル設定のすべてを説明します。
 - すべて
 - System_PROD_DATA
 - IMM
 - iSCSI
 - uEFI
 - NetworkConnection: NetworkConnection はマシン・タイプおよびインストールされたハードウェアとソフトウェアによって決まります。
 - BootOrder
 - PXE

よく使用する設定

このオプションを使用して、よく使用される設定を表示および変更します。「構成の概要」ページには、それらの各設定の現在の状況が簡略に示されます。

手順

「構成の概要」ページで、またはナビゲーション・メニューから、以下のよく使用する設定のいずれかをクリックして選択してください。

- ブート順序
- IMM ユーザー・アカウント
- アクティベーション・キー管理
- システム・コンタクト
- エネルギーおよびパフォーマンス

ブート順序

このオプションを使用して、システム・デバイスのブート順序および Wake on LAN ブート順序のシーケンスを表示および変更します。ブート順序シーケンスは IMM に保管され、始動プロセスのときにサーバーのファームウェアによって使用されます。

手順

1. 「ブート順序」をクリックします。「構成 - ブート順序」ページが表示されます。

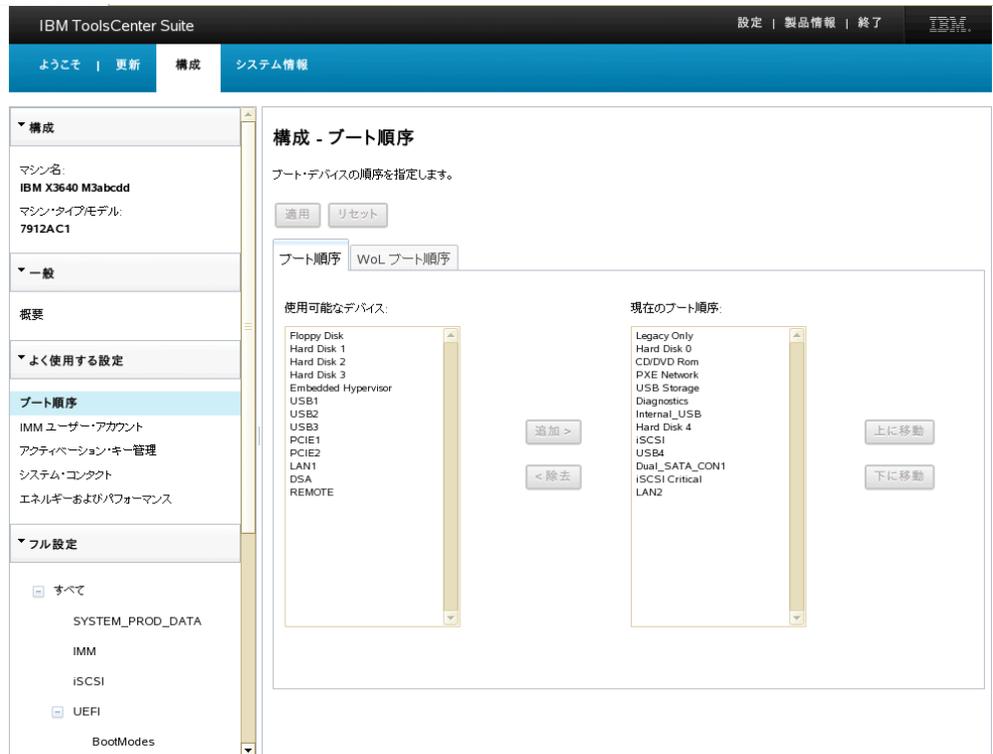


図 23. 構成 - ブート順序

2. 表示または変更を行う「ブート順序」タブをクリックして選択します。

- ブート順序
- WoL ブート順序

右ペインの右側に「現在のブート順序」、左側に「使用可能なデバイス」がそれぞれリストされます。

3. 「現在のブート順序」リストに変更を加えるには、以下の該当する手順を実行します。
 - a. 「現在のブート順序」リストに示されているデバイスの現在のブート順序シーケンスだけを変更するには、デバイスをクリックして選択し、「上に移動」、「下に移動」、「< 除去」のいずれかのボタンをクリックします。
 - b. 「現在のブート順序」リストにデバイスを追加するには、「使用可能なデバイス」のリストから、追加するデバイスをクリックして「追加 >」をクリックします。
4. 選択したアクションをキャンセルするには、「リセット」をクリックします。
5. 「適用」をクリックして、新しいブート順序シーケンスの変更内容を保存します。

IMM ユーザー・アカウント

このオプションを使用して、IMM ユーザー・アカウントを作成、削除、または編集します。

手順

1. 「構成の概要」 ページで「**IMM ユーザー・アカウント**」 をクリックします。
「構成 - IMM ユーザー・アカウント」 ページが表示されます。

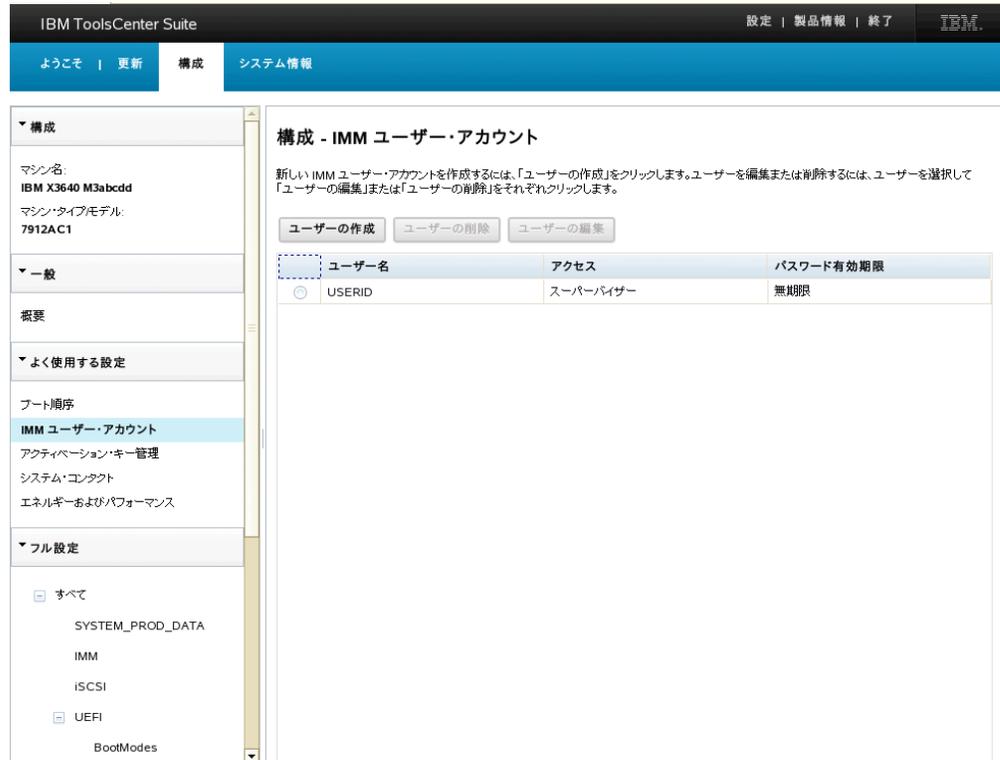


図 24. 構成 - IMM ユーザー・アカウント

既存の IMM ユーザーが IMM ユーザー・アカウント・リストに表示されます。このリストは、各ユーザーについて、以下の情報を提供します。

- ユーザー名
 - アクセス
 - パスワード有効期限
2. 新規ユーザーを作成するには、「**ユーザーの作成**」をクリックします。「ユーザーの作成」ダイアログ・ボックスが表示されます。
 - a. 以下のユーザー情報を入力してから「**OK**」をクリックするか、「**キャンセル**」をクリックして「ユーザーの作成」ダイアログ・ボックスを終了します。
 - ユーザー名
 - パスワード
 - パスワードの確認

注: 各フィールドに情報を入力した後、ユーザー名規則とパスワード規則が自動的に検査され、各フィールドがそれらの規則を満たしているかどうかを検証されます。

新規ユーザーが作成されると、そのユーザーが IMM ユーザー・アカウント・リストに追加されます。

3. IMM ユーザー・アカウント・リストから既存のユーザーを削除するには、「**ユーザー名**」をクリックして、「**ユーザーの削除**」をクリックします。「IMM ユーザーを削除しますか?」ダイアログ・ボックスで、「**OK**」をクリックして IMM ユーザーの削除を確認するか、「**キャンセル**」をクリックして終了します。
4. 既存のユーザーを編集するには、「**ユーザー名**」をクリックして選択し、「**ユーザーの編集**」をクリックします。「ユーザーの編集」ダイアログ・ボックスが表示されます。以下の IMM ユーザー・オプションを変更できます。
 - 自分のユーザー名とパスワードを変更するには、「**ユーザー信用証明情報**」タブをクリックします。
 - 以下のいずれかのユーザー・アクセス・レベルを選択するには、「**権限**」タブを選択します。
 - スーパーバイザー: 制限は一切ありません。
 - 読み取り専用: 読み取り専用アクセス権限だけを持ち、保存、変更、クリア、および状態に影響を及ぼす操作は、どれも実行できません。
 - カスタム: ユーザーは、どのカスタム権限レベルを割り当てられているかに応じて、制限がある場合とない場合があります。
5. ユーザー情報の編集が完了したら、「**OK**」をクリックするか「**キャンセル**」をクリックして、「ユーザーの編集」ダイアログ・ボックスを終了します。

アクティベーション・キー管理

Features on Demand は、Features on Demand アクティベーション・キーと呼ばれるソフトウェア・キーによってサーバー上のフィーチャーまたはオプションをアクティブにする機能を備えています。このオプションを使用して、現在インストールされているキーのリストを表示し、IBM KMS Web サイトからキーをインストールし、ローカル側にインストールされているキーをエクスポートし、インストールしたキー・ファイルを削除することができます。Features on Demand について詳しくは、「IBM System x Features on Demand の使用法」Redbookを参照してください。

手順

1. 「構成の概要」ページで「**アクティベーション・キー管理**」をクリックします。「構成 - アクティベーション・キー管理」ページが表示されます。

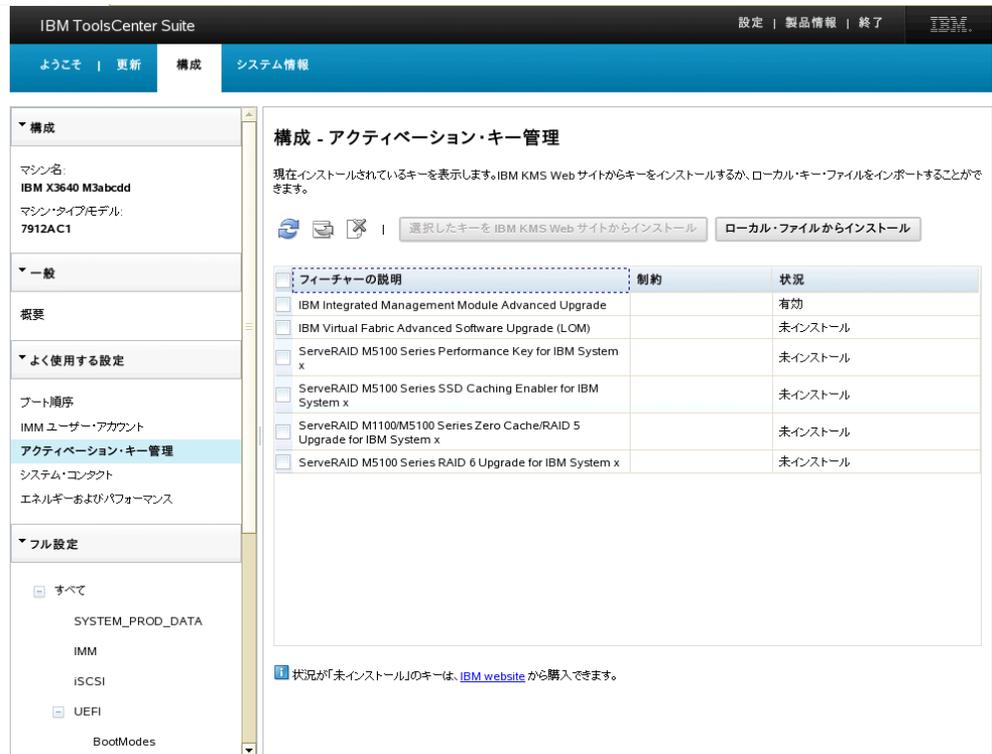


図 25. 構成 - アクティベーション・キー管理

インストール済みのフィーチャーのアクティベーション・キーは、現行インストール済みキー・リストに表示されます。稼働中のインターネット接続がある場合は、現行システムに使用可能なアクティベーション・キーを IBM KMS Web サイトから購入できます。

2. 以下のいずれかのオプションをクリックして選択するか、次のステップに進むことができます。
 - **最新表示**

注: 「最新表示」をクリックすると、現行システム用のインストール済みフィーチャー・アクティベーション・キーと、そのシステムに使用可能なアクティベーション・キー (これは IBM Web サイトから購入できます) がアクティベーション・キー・リストに表示されます。
 - **エクスポート**
 - **削除**
 - **選択したキーを IBM KMS Web サイトからインストール**
 - **ローカル・ファイルからインストール**
3. 「エクスポート」をクリックして、ブラウザ・ウィンドウにキー・ファイルを開きます。「キー・ファイルを開く (Open Key File)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして続行するか、「キャンセル」をクリックし、終了して「アクティベーション・キー管理」ページに戻ります。
4. 「削除」をクリックして、キーを削除します。「キー削除の確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックしてキーを削除するか、「キャンセル」をクリックしてキーを保持します。

5. アクティベーション・キー・リストで、状況が「未インストール」として表示されるキーを選択し、「**選択したキーを IBM KMS Web サイトからインストール**」をクリックします。「IBM KMS Web サイトからアクティベーション・キーをインストール」ダイアログ・ボックスが表示されます。
 - a. 「IBM KMS Web サイトからアクティベーション・キーをインストール」ダイアログ・ボックスに情報を入力します。
 - IBM ID
 - ユーザー・パスワード
 - 各キーの詳細
 - b. 「**今すぐインストール**」をクリックして、IBM KMS Web サイトからアクティベーション・キーをインストールします。「IBM KMS サイトからアクティベーション・キーをインストール (Install Activation Key from IBM KMS Site)」ページが表示されます。

IBM KMS Web サイトからアクティベーション・キーをインストール

アクティベーション・キーに関する次の情報を指定してください:

1. ユーザー信用証明情報

IBM ID:

ユーザー・パスワード:
2. 各キーの詳細 (キーをインストールするには許可コードおよび固有 ID が必要です。)

フィーチャーの説明	固有 ID	許可コード
ServerRAID M5100 Series SSD Caching Enabler for IBM System x	<input style="width: 80%; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 80%; height: 20px;" type="text"/>

図 26. IBM KMS サイトからアクティベーション・キーをインストール

IBM ID エラーになったかパスワードが認識されなかった場合は、次のエラー・メッセージ・ダイアログ・ボックスが表示されます。

IBM ID またはパスワードが認識されません。
(The IBM ID or password is not recognized.)

固有 ID エラーになった場合は、次のエラー・メッセージが表示されます。

示されたライセンスの固有 ID が認識されません。
(The Unique Identifiers for the indicated license are not recognized.)
許可コードおよび固有 ID が必要であることに注意してください。
(Note that an authorization code and Unique Identifier are required.)

6. 「ローカル・ファイルからインストール」をクリックして、ローカル・ファイルから 1 つ以上のキーをインストールします。「ファイルのアップロード (File Upload)」ダイアログ・ボックスが表示されます。
 - a. ファイル・アップロード・ディレクトリー・ロケーションをクリックして選択し、「開く (Open)」をクリックします。
 - b. サーバーにアップロードするアクティベーション・キー・ファイルをクリックして選択し、「OK」をクリックします。「ローカル・ファイルからアクティベーション・キーをインストール」ダイアログ・ボックスが開きます。進行状況表示バーにキー・インストール・パーセンテージが示され、テーブルにインストール済みアクティベーション・キーの情報がリストされます。
7. いつでも「最新表示」をクリックすると、現行のインストール済みキーのリストと使用可能なキーのリストが最新表示されます。

システム・コンタクト

システム・コンタクト情報は、操作およびサポート担当者がシステムを識別するために使用します。このオプションを使用して、システム・コンタクト情報を追加または変更します。

手順

1. 「構成の概要」ページで「システム・コンタクト」をクリックします。「構成 - システム・コンタクト」ページが表示されます。

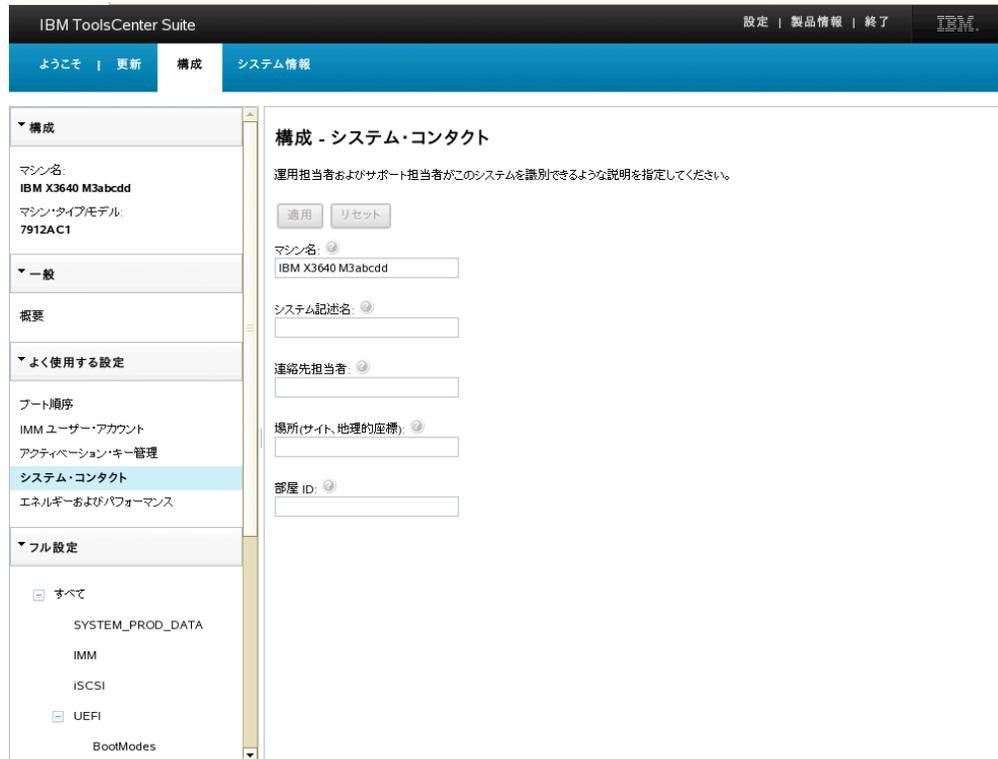


図 27. 構成 - システム・コンタクト

2. 表示される「マシン名」について、以下の該当する情報を入力します。
 - マシン名
 - システム記述名
 - 連絡先担当者
 - 場所 (サイト、地理的座標)
3. 「適用」をクリックして、新しいシステム・コンタクト情報を適用および保存するか、「リセット」をクリックして元の「システム・コンタクト」情報をリストアします。

エネルギーおよびパフォーマンス

「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定は、マシン・タイプによって決まります。該当するオプションを使用して、「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定の値を変更してください。パフォーマンスおよび電力のチューニングは、最良の見積もりに基づいています。環境の違いによって、結果が最良の見積もりと同じでない場合もあります。

M4 マシン・タイプの「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定:

この手順を使用して、M4 マシン・タイプの「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定値を変更します。M4 マシンには、4 つのエネルギーおよびパフォーマンスのオプションがあります。M4 のデフォルト状態は「効率」です。

手順

1. 「構成の概要」ページで「エネルギーおよびパフォーマンス」をクリックします。「構成 - エネルギーおよびパフォーマンス」ページが表示されます。

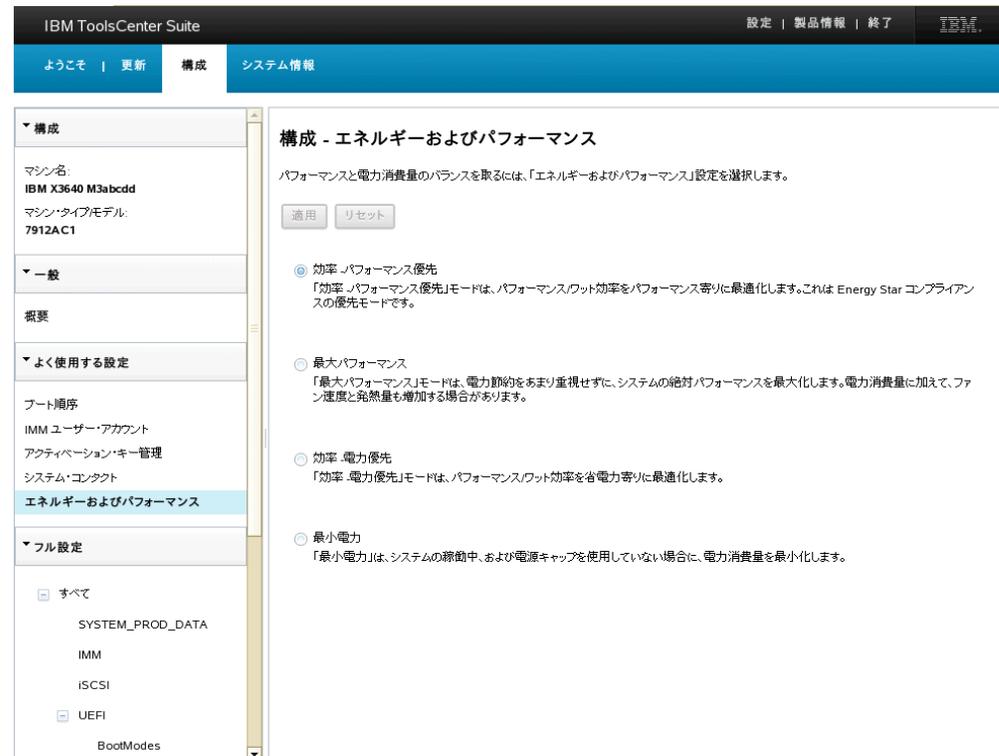


図 28. 構成 - エネルギーおよびパフォーマンス

2. ご使用のシステムに合わせて、以下のいずれかのオプションをクリックして選択します。
 - **効率 - パフォーマンス優先:** このモードは、パフォーマンス/ワット効率をパフォーマンス寄りに最適化します。これは Energy Star コンプライアンスの優先モードです。
 - **最大パフォーマンス:** このモードは、電力節約をあまり重視せずに、システムの絶対パフォーマンスを最大化します。電力消費量に加えて、ファン速度と発熱量も増加する場合があります。
 - **効率 - 電力優先:** このモードは、パフォーマンス/ワット効率を省電力寄りに最適化します。この設定は、M4 マシン・タイプにのみ適用できます。
 - **最小電力:** このモードは、システムの稼働中、および電源キャップを使用していない場合に、電力消費量を最小化します。
3. 「適用」をクリックして「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定変更を適用および保存するか、「リセット」をクリックして、以前の「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定に戻します。選択したオプションに変更を加えていない場合、「適用」と「リセット」のボタンは使用できません。

M4 より前のマシン・タイプの「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定:

この手順を使用して、M4 より古いマシン・タイプの「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定値を変更します。これらのマシン・タイプには、エネルギーおよびパフォーマンスの 3 つのオプションがあります。

手順

1. 「構成の概要」ページで「エネルギーおよびパフォーマンス」をクリックします。「構成 - エネルギーおよびパフォーマンス」ページが表示されます。
2. ご使用のシステムに合わせて、以下のいずれかのオプションをクリックして選択します。
 - **効率:** このモードは、パフォーマンス/ワット効率を最適化します。これは Energy Star コンプライアンスの優先モードです。
 - **最大パフォーマンス:** このモードは、電力節約をあまり重視せずに、システムの絶対パフォーマンスを最大化します。電力消費量に加えて、ファン速度と発熱量も増加する場合があります。
 - **最小電力:** このモードは、システムの稼働中、および電源キャップを設定していない場合に、電力消費量を最小化します。
3. 「適用」をクリックして「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定変更を適用および保存するか、「リセット」をクリックして、以前の「エネルギーおよびパフォーマンス」の設定に戻します。選択したオプションに変更を加えていない場合、「適用」と「リセット」のボタンは使用できません。

アクション

アクション・セクションでは、「エクスポート」、「インポート」、および「出荷時のデフォルト値にリセット」の各オプションに素早くアクセスすることができます。

このタスクについて

この手順で説明する「エクスポート」、「インポート」、および「出荷時のデフォルト値にリセット」の各オプションを使用して、特定の状況にアクションを適用します。

- **エクスポート:** 構成を変更するか更新をインストールする前に、現行のマシン設定をエクスポートするために使用します。
- **インポート:** 設定をエクスポートした後、マシンに構成設定をリストアまたは複製するために使用します。
- **出荷時のデフォルト値にリセット:** 構成の変更または更新が適用される前のマシン設定をリストアするために使用します。

手順

「構成の概要」ページで、以下のいずれかのアクションをクリックして選択します。

- **エクスポート:** 「saveall.out を開く」ダイアログ・ボックスが表示されます。



図 29. 構成 - エクスポート・アクション

以下のいずれかのオプションを選択します。

- 「プログラムで開く」をクリックして、ドロップダウン・メニューからブラウザを選択します。
- 「ファイルを保存する」および「OK」をクリックします。
- 「今後この種類のファイルは同様に処理する」をクリックして、このダイアログ・ボックスで作成したエクスポート・オプションを保存します。
- 「キャンセル」をクリックして、この操作を終了します。
- インポート: 「構成ファイルのインポート」ダイアログ・ボックスが表示されます。

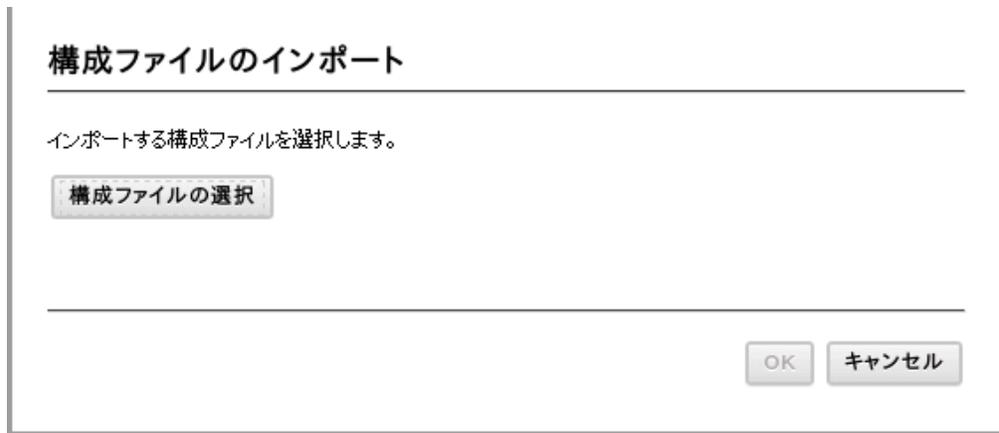


図 30. 構成 - インポート・アクション

以下のいずれかのオプションを選択します。

- 「構成ファイルの選択」をクリックし、「ファイルのアップロード (File Upload)」ダイアログ・ボックスからファイルを参照して選択するか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。

同じサーバーからエクスポートされた構成ファイルをインポートすることを選択した場合は、「構成設定を復元することを確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。

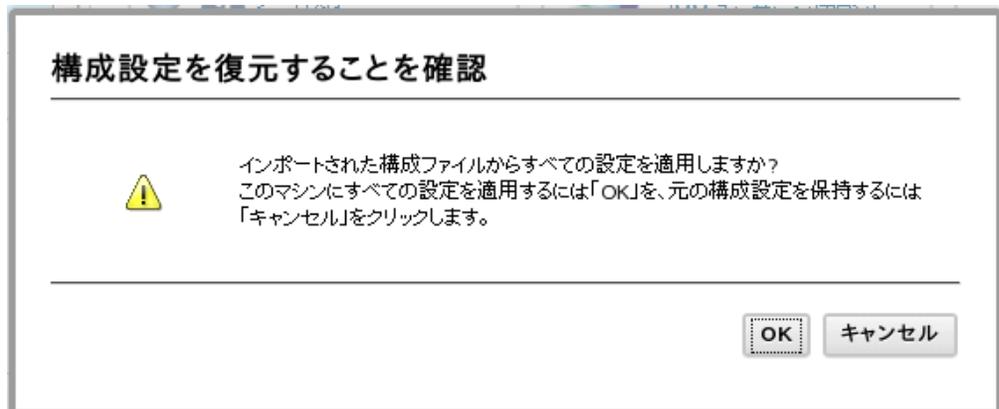


図 31. 構成 - インポート・アクション - 構成設定のリストア

- 「OK」をクリックして、このマシン用のすべての設定を適用するか、「キャンセル」をクリックして、元の構成設定を保持します。
- 別のマシンからエクスポートされた構成ファイルをインポートすることを選択した場合は、「構成設定を複製することを確認」ダイアログ・ボックスが表示されます。

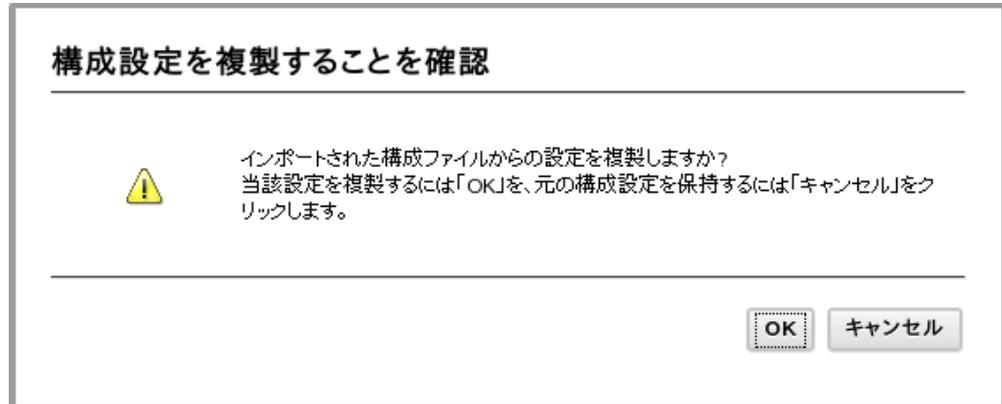


図 32. 構成 - インポート・アクション - 構成設定の複製

「OK」をクリックして、このマシン用のすべての設定を適用するか、「キャンセル」をクリックして、元の構成設定を保持します。

- 出荷時のデフォルト値にリセット: ドロップダウン・メニューを使用して、以下のいずれかのリセット・オプションを選択します。
 - すべての設定を出荷時のデフォルト値にリセット
 - IMM 出荷時のデフォルト値にリセット
 - uEFI 出荷時のデフォルト値にリセット

フル設定

「フル設定」オプションを使用して、すべてのシステム設定を表示します。これには、SYSTEM_PROD_DATA、IMM、iSCI、uEFI NetworkConnection、BootOrder、および PXE が含まれます。「フル設定」は固定された設定のグループではなく、マシン・タイプとモデルによって異なります。

手順

1. ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」をクリックします。「構成 - すべて構成」ページが表示されます。このページには、すべての設定、そのグループ名、および現行値のテーブル・リストが表示されます。テーブル内の各項目の上にマウスを移動すると、その設定の定義が表示されます。

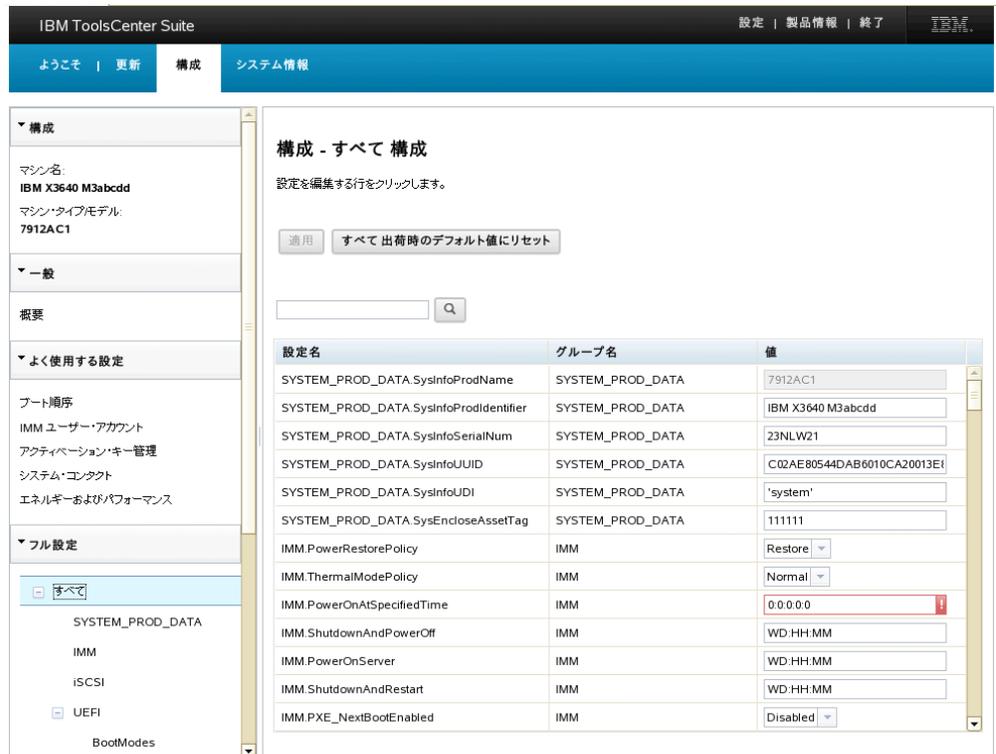


図 33. 構成 - すべての設定

2. このページには、設定を表示または変更するためのいくつかのオプションがあります。

- 設定を検索するには、検索フィールドに名前を入力して、検索アイコンをクリックします。(この検索では大/小文字が区別されません。) この設定の最良の一致が検出され、テーブルの最初の行に表示されます。
- 設定の値を変更するには、「値」列でドロップダウン・メニューをクリックして値を選択します。
- 設定変更を適用するには、「適用」をクリックします。「設定変更を適用しますか?」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。「OK」を選択すると、新しい設定値が適用されるまで、次のメッセージが表示されます。

設定の適用中。お待ちください...

設定が正常に更新されました。

「OK」をクリックして、設定をロードします。次のメッセージが表示されま

す。

ロード中です。お待ちください...

- 設定をリセットするには、「すべて出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャンセル」をクリックします。

- 個別の設定を表示するには、ナビゲーション・メニューで、「すべて」をクリックし、表示する設定をクリックします。個別の設定の情報が右ペインに表示され、その設定のグループ名と現行値が示されます。

SYSTEM_PROD_DATA 設定

このオプションを使用して、SYSTEM_PROD_DATA 設定を表示し、それらの設定の値を変更します。SYSTEM_PROD_DATA はユーザーが構成可能な VPD 設定です。

手順

- ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」 > 「SYSTEM_PROD_DATA」をクリックします。「構成 - SYSTEM_PROD_DATA 構成」ページが表示されます。

The screenshot shows the '構成 - SYSTEM_PROD_DATA 構成' page in the IBM ToolsCenter Suite. The left sidebar contains navigation options like '構成', '一般', 'よく使用する設定', and 'フル設定'. The main area displays a table of settings:

設定名	グループ名	値
SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName	SYSTEM_PROD_DATA	7912AC1
SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdIdentifier	SYSTEM_PROD_DATA	IBM X3640 M3abccd
SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum	SYSTEM_PROD_DATA	23NLW21
SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID	SYSTEM_PROD_DATA	C02AE80544DAB6010CA20013E...
SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUDI	SYSTEM_PROD_DATA	'system'
SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag	SYSTEM_PROD_DATA	111111

図 34. 構成 - SYSTEM_PROD_DATA

このページには、すべての SYSTEM_PROD_DATA 設定、そのグループ名、および現行値をリストしたテーブルが表示されます。テーブル内の各項目の上でマウスを移動すると、その設定の定義が表示されます。

- このページには、SYSTEM_PROD_DATA 設定を表示または変更するためのいくつかのオプションがあります。

注: SYS_PROD_DATA_SysInfoProdName 設定の値は変更できません。

- 設定を検索するには、検索フィールドに名前を入力して、検索アイコンをクリックします。(この検索では大/小文字が区別されません。) この設定の最良の一致が検出され、テーブルの最初の行に表示されます。
- 設定の値を追加または変更するには、「値」列に値を入力します。

- 設定変更を適用するには、「適用」をクリックします。「設定変更を適用しますか?」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。「OK」を選択すると、新しい設定値が適用されるまで、次のメッセージが表示されます。

設定の適用中。お待ちください...

設定が正常に更新されました。

「OK」をクリックして、設定をロードします。次のメッセージが表示されます。

ロード中です。お待ちください...

- 設定をリセットするには、「SYSTEM_PROD_DATA 出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャンセル」をクリックします。

IMM 設定

このオプションを使用して IMM 設定を表示し、それらの設定を変更します。

手順

- ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」 > 「IMM」をクリックします。「構成 - IMM 構成」ページが表示されます。

設定名	グループ名	値
IMM.PowerRestorePolicy	IMM	Restore
IMM.ThermalModePolicy	IMM	Normal
IMM.PowerOnAtSpecifiedTime	IMM	00:00:00
IMM.ShutdownAndPowerOff	IMM	WD.HH.MM
IMM.PowerOnServer	IMM	WD.HH.MM
IMM.ShutdownAndRestart	IMM	WD.HH.MM
IMM.PXE_NextBootEnabled	IMM	Disabled
IMM.TimeZone	IMM	GMT+0:00
IMM.DST	IMM	No
IMM.IMMInfo_Name	IMM	
IMM.IMMInfo_Contact	IMM	
IMM.IMMInfo_Location	IMM	
IMM.IMMInfo_RoomId	IMM	

図 35. 構成 - IMM 設定

このページには、すべての IMM 設定、そのグループ名、および現行値をリストしたテーブルが表示されます。テーブル内の各項目の上にマウスを移動すると、その設定の定義が表示されます。

2. このページには、IMM 設定を表示または変更するためのいくつかのオプションがあります。

- 設定を検索するには、検索フィールドに名前を入力して、検索アイコンをクリックします。(この検索では大/小文字が区別されません。) この設定の最良の一致が検出され、テーブルの最初の行に表示されます。
- 設定の値を変更するには、「値」列でドロップダウン・メニューをクリックして値を選択します。
- 設定変更を適用するには、「適用」をクリックします。「設定変更を適用しますか?」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。「OK」を選択すると、新しい設定値が適用されるまで、次のメッセージが表示されます。

設定の適用中。お待ちください...

設定が正常に更新されました。

「OK」をクリックして、設定をロードします。次のメッセージが表示されます。

ロード中です。お待ちください...

- 設定をリセットするには、「IMM 出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャンセル」をクリックします。

iSCSI 設定

このオプションを使用して、iSCSI 設定または個別の設定を表示し、それらの設定を変更します。iSCSI 設定は、1 つのレコードにグループ化されています。このレコードのレコード・キーは、**iSCSI.AttemptName** 設定です。各レコードは、1 つのアテンプトを表しています。「アテンプト」という用語は、「インスタンス」という用語と同じ意味です。複数のアテンプトを定義できます。複数のアテンプトを定義した場合、そのアテンプト・グループを定義する同じ設定名が使用されますが、各アテンプトには次の順次インスタンス番号が入っています。例えば、

iSCSI.MacAddress.1 と **iSCSI.MacAddress.2** はそれぞれ、「第 1」アテンプトと「第 2」アテンプトに属します。すべてのアテンプトにグローバル iSCSI 設定として定義されていて、インスタンス・インデックスを必要としない唯一のパラメータは、**iSCSI.InitiatorName** です。

手順

1. ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」 > 「iSCSI」をクリックします。「構成 - iSCSI 構成」ページが表示されます。

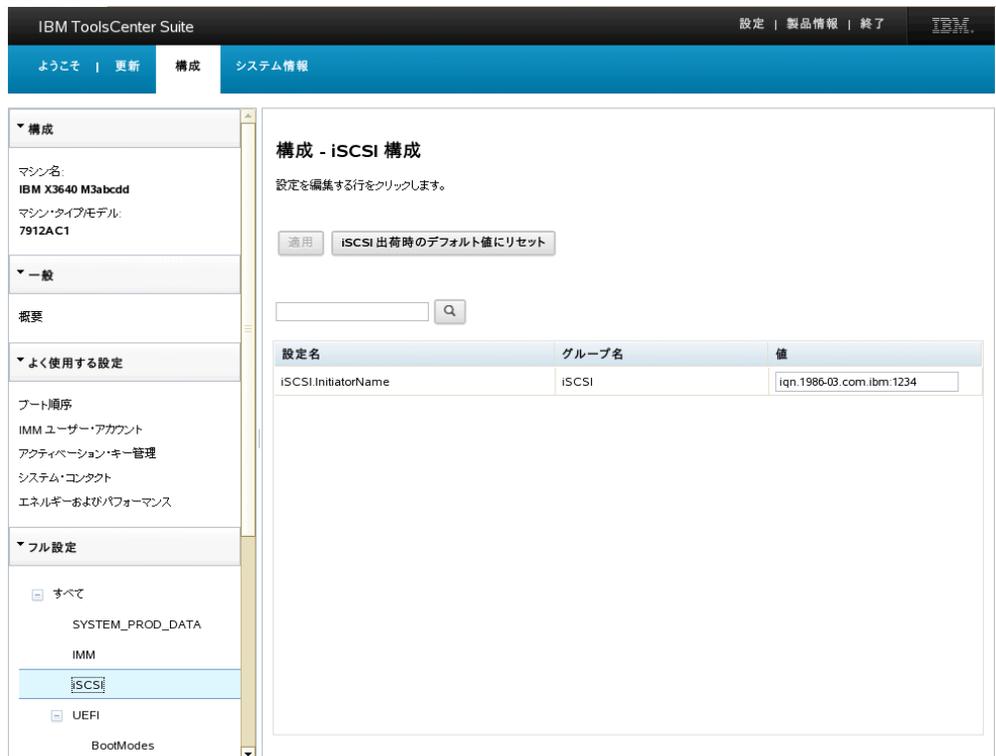


図 36. 構成 - iSCSI

このページには、すべての iSCSI 設定、そのグループ名、および現行値をリストしたテーブルが表示されます。テーブル内の各項目の上にマウスを移動すると、その設定の定義が表示されます。

- このページには、iSCSI 設定を表示または変更するためのいくつかのオプションがあります。

- 設定を検索するには、検索フィールドに名前を入力して、検索アイコンをクリックします。(この検索では大/小文字が区別されません。) この設定の最良の一致が検出され、テーブルの最初の行に表示されます。
- 設定の値を変更するには、「値」列に新しい値を入力します。
- 設定変更を適用するには、「適用」をクリックします。誤った値が入力されると、ダイアログ・ボックスにその情報が表示されます。「クローズ」をクリックします。正しい値が入力されると、「設定変更を適用しますか?」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。「OK」を選択すると、新しい設定値が適用されるまで、次のメッセージが表示されます。

設定の適用中。お待ちください...

設定が正常に更新されました。

「OK」をクリックして、設定をロードします。次のメッセージが表示されます。

ロード中です。お待ちください...

- 設定をリセットするには、「iSCSI 出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャンセル」をクリックします。
3. 個別の設定を表示するには、ナビゲーション・メニューで、「すべて」 > 「iSCSI」をクリックし、表示する設定をクリックします。個別の設定の情報が右ペインに表示され、その設定のグループ名と現行値が表示されます。

uEFI 設定

このオプションを使用して、uEFI 設定を表示および変更します。

手順

1. ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」 > 「uEFI」をクリックします。「構成 - uEFI 構成 (uEFI Configuration)」ページが表示されます。

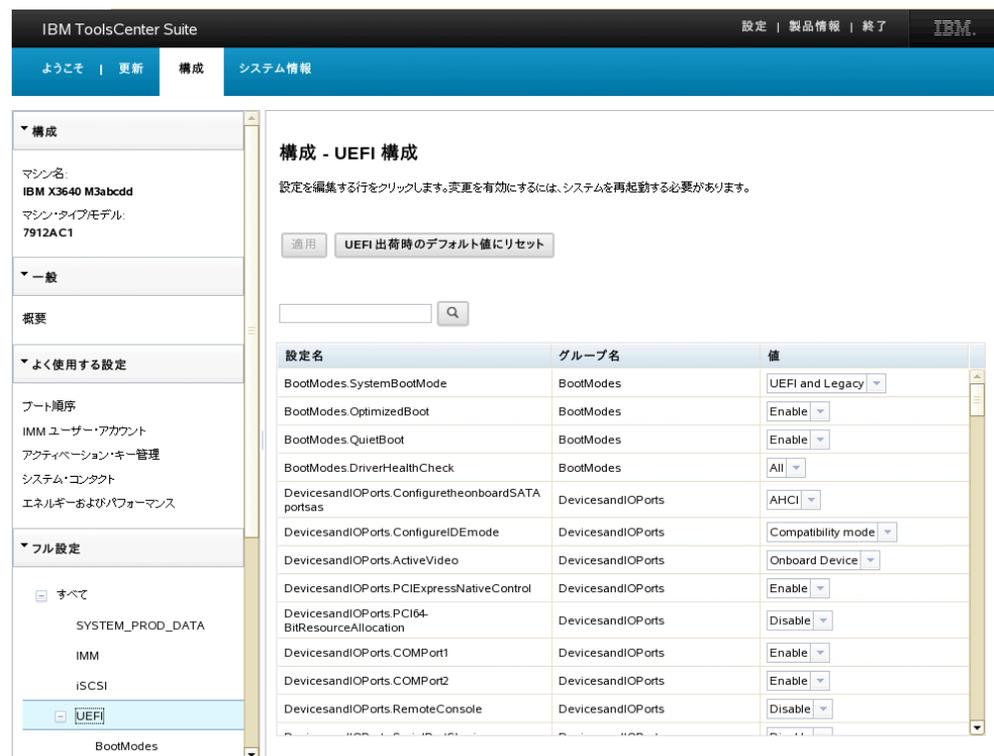


図 37. 構成 - uEFI 設定

このページには、すべての uEFI 設定、そのグループ名、および現行値をリストしたテーブルが表示されます。テーブル内の各項目の上にマウスを移動すると、その設定の定義が表示されます。

2. このページには、uEFI 設定を表示または変更するためのいくつかのオプションがあります。
 - 設定を検索するには、検索フィールドに名前を入力して、検索アイコンをクリックします。(この検索では大/小文字が区別されません。) この設定の最良の一致が検出され、テーブルの最初の行に表示されます。

- 設定の値を変更するには、「値」列で「値」をクリックしてドロップダウン・メニューを表示し、値を選択します。
- 設定変更を適用するには、「適用」をクリックします。「設定変更を適用しますか?」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして先へ進むか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。「OK」を選択すると、新しい設定値が適用されるまで、次のメッセージが表示されます。

設定の適用中。お待ちください...

設定が正常に更新されました。

「OK」をクリックして、設定をロードします。次のメッセージが表示されま
す。

ロード中です。お待ちください...

- 設定をリセットするには、「uEFI 出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャンセル」をクリックします。

3. 個別の設定を表示するには、ナビゲーション・メニューで、「すべて」 > 「uEFI」をクリックし、表示する設定をクリックします。個別の設定の情報が右ペインに表示され、その設定のグループ名と現行値が示されます。

BootOrder 設定

このオプションを使用して、BootOrder 設定を構成します。BootOrder に対する変更は、リブートの後に有効になります。

手順

1. ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」 > 「BootOrder」をクリックするか、ブート順序についての検索を実行します。「構成 - BootOrder 構成」ページが表示されます。

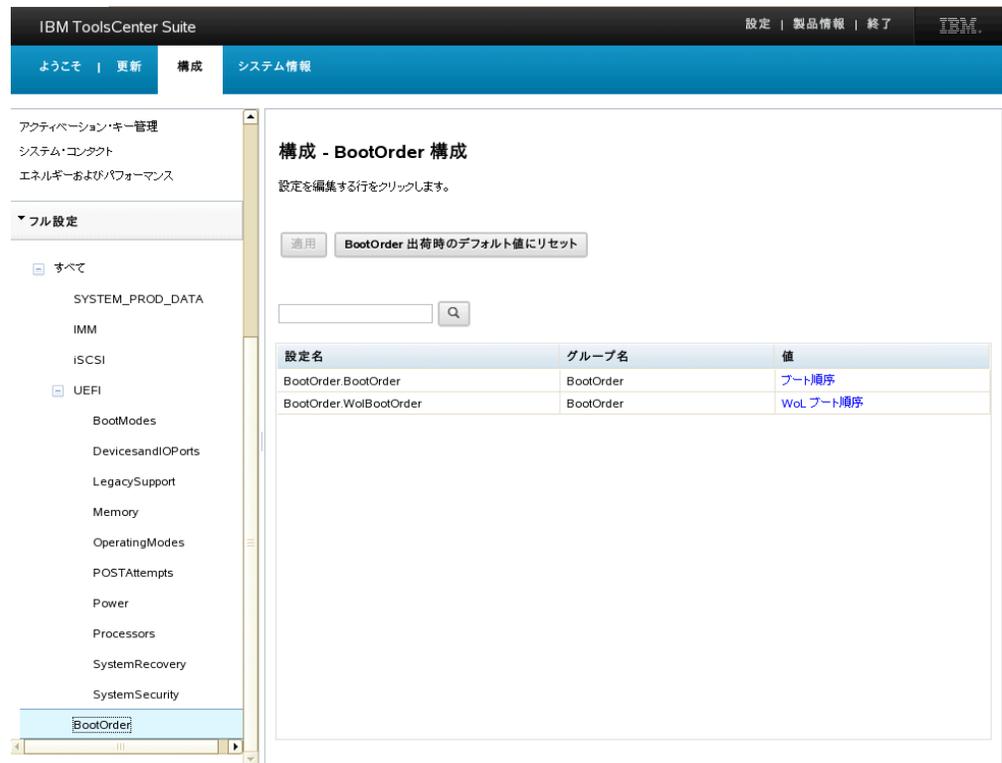


図 38. 構成 - BootOrder

BootOrder の各タイプについて詳細を表示するには、マウスを各行の上に移動します。その特定の BootOrder が何を行うかについての説明が表示されます。

2. 以下のいずれかのオプションを選択します。

- 設定をリセットするには、「**BootOrder 出荷時のデフォルト値にリセット**」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**OK**」をクリックして値のリセットを続行するか、「**キャンセル**」をクリックします。
- 「値」列で「**ブート順序**」をクリックして、リストされているブート順序項目の 1 つを選択します。「ブート順序の構成 (Configure Boot Order)」ダイアログ・ボックスが表示されます。「**OK**」をクリックして続行するか、「**キャンセル**」をクリックしてダイアログ・ボックスを終了し、「構成 - ブート順序」ページに戻ります。

関連タスク:

35 ページの『ブート順序』

「ブート順序」構成に関する追加情報を提供します。

PXE 設定

このオプションを使用して、Preboot Execute Environment (PXE) 設定を構成します。PXE は、ハード・ディスクなどのデータ・ストレージ・デバイスやインストールされているオペレーティング・システムに依存しないネットワーク・インターフェースを使用して、コンピューターをブートするための環境です。

手順

1. ナビゲーション・メニューを使用して、「フル設定」 > 「すべて」 > 「PXE」をクリックします。「構成 - PXE 構成」ページが表示されます。

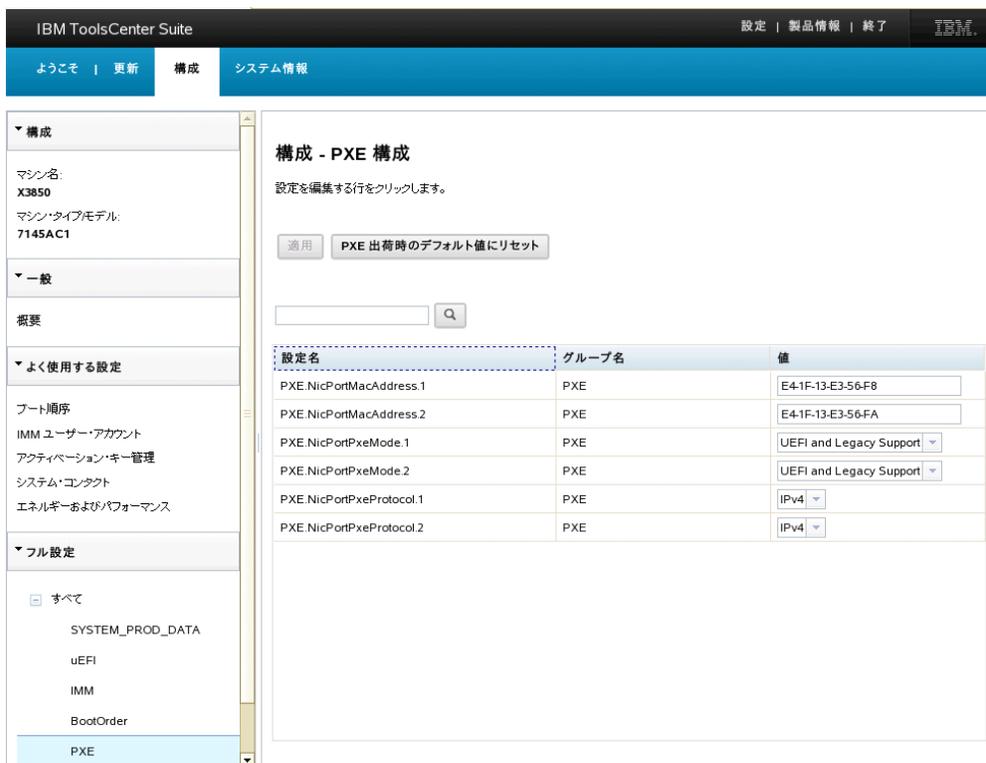


図 39. 構成 - PXE

PXE 設定リストは、PXE MAC アドレス、PXE ポート・デバイス、および PXE ポート・プロトコルから構成されています。リストされる各 PXE 設定の詳細を表示するには、マウスを各行の上に移動します。その設定の説明が表示されます。

2. 以下のいずれかのオプションを選択します。
 - 設定をリセットするには、「PXE 出荷時のデフォルト値にリセット」をクリックします。「出荷時のデフォルト値にリセット」ダイアログ・ボックスが表示されます。「OK」をクリックして値のリセットを続行するか、「キャンセル」をクリックします。
 - 「値」列の項目をクリックして選択します。
 - MAC アドレスは、新しいアドレスを入力することによって変更できます。
 - ドロップダウン・メニューから PXE ポート・デバイス値をクリックして選択します。
 - ドロップダウン・メニューから PXE ポート・プロトコル値をクリックして選択します。
 - 「適用」をクリックして、新しい PXE 設定を保存します。

「システム情報」機能の使用

このセクションでは、システム状況とイベント・ログをスキャンして表示する方法、およびシステム情報を収集する方法について説明します。分析、サービス、およびサポートのために、フル・システム情報を収集することができます。これらのファイルは、IBM サポートまたは FTP サーバーに送信することができます。

手順

1. ウェルカム・ページで、または ToolsCenter Suite メニューから、「システム情報」をクリックして選択します。「システム情報 - 概要」ページが表示されます。



図 40. システム情報 - 概要

ナビゲーション・メニューには、システム・ヘルスのオプションが入っています。右ペインには、リアルタイムのシステム状況が示されます。「システム情報 - 概要」ページを最初に開いたときに、状況が更新されます。状況を再更新するには、イベント・ログ画面またはライト・パス画面で「最新表示」をクリックします。

右ペインの「フル・システム情報の収集」セクションには、最後にフル・システム情報が収集されたときを示す日付スタンプが表示されます。また、レポート名がリンクとして表示されます。このリンクをクリックすると、レポートが開かれ、ご使用のシステムの完全なシステム概要が示されます。

2. 「システム情報 - 概要」ページで、以下のいずれかのオプションをクリックして選択します。
 - ライト・パス

- イベント・ログ
- すぐに収集

ライト・パス状況

このオプションは、マシンのフロント・パネルおよび背面パネルの各 LED、およびプレーナー上にある詳細 LED の位置と状況について情報を提供します。

手順

1. ライト・パス状況情報を表示するには、「システム情報 - 概要」ページで「ライト・パス」ダッシュボードをクリックするか、「ライト・パス」ダッシュボード内の「続く」をクリックします。「ライト・パス」情報ページが表示されます。

システム情報 - ライト・パス

マシンのフロント・パネルの LED (レベル 1)

LED ラベル	場所	状況
障害	Front Panel, Rear Panel	オフ
ID	Front Panel, Rear Panel	オフ
チェック・ログ	Front Panel	オン
電源	Front Panel, Rear Panel	オン

詳細 LED

LED ラベル	場所	状況
CPU 1	Plenar	オフ
CPU 2	Plenar	オフ
DIMM 1	Plenar	オフ
DIMM 2	Plenar	オフ
DIMM 3	Plenar	オフ
DIMM 4	Plenar	オフ
DIMM 5	Plenar	オフ
DIMM 6	Plenar	オフ
DIMM 7	Plenar	オフ
DIMM 8	Plenar	オフ
DIMM 9	Plenar	オフ
DIMM 10	Plenar	オフ
DIMM 11	Plenar	オフ

図 41. システム情報 - ライト・パス状況

ライト・パス画面で「最新表示」をクリックして、最新のライト・パス情報を収集することができます。ナビゲーション・メニューから「ライト・パス」を選択すると、以前に収集されたライト・パス情報が表示されます。

「ライト・パス」ページには以下の状況が示されます。

マシンのフロント・パネルの LED (レベル 1):

以下の LED について報告される状況は、「オン」または「オフ」です。位置は、「フロント・パネル (Front Panel)」または「背面パネル (Rear Panel)」として表示されます。

- 障害

- ID
- 電源
- チェック・ログ

詳細 LED:

「詳細 LED」について報告される状況は、いずれの詳細 LED についても「オン」および「オフ」ですが、「IMM2 ハートビート (IMM2 Heartbeat)」だけは例外で、これには「明滅」という状況があります。詳細情報は、マシン・タイプごとに異なります。

- CPU 1
- CPU 2
- DIMM 1
- DIMM 2
- DIMM 2
- DIMM 4
- DIMM 5
- DIMM 6
- DIMM 7
- DIMM 8
- DIMM 9
- DIMM 10
- DIMM 11
- DIMM 12
- DIMM 13
- DIMM 14
- DIMM 15
- DIMM 16
- PCIE 1
- PCIE 2
- バッテリー
- IMM2 ハートビート (IMM2 Heartbeat)
- Mezz カード (Mezz Card)

2. LED の表示を完了したら、以下のいずれかのオプションを選択します。

- ナビゲーション・メニューから「概要」の「システム情報 - 概要」ページまたは「イベント・ログ」ページをクリックして選択します。
- 画面上部にある、いずれかの ToolsCenter Suite メニュー項目をクリックします。

イベント・ログ情報

このオプションは、IPMI SEL イベント・ログから収集された「クリティカル」、「警告」、「通知」の各イベントの詳細情報を提供します。

手順

1. イベント・ログ情報を表示するには、「システム情報 - 概要」ページで「イベント・ログ」ダッシュボードをクリックするか、「イベント・ログ」ダッシュボード内の「続く」をクリックします。「システム情報 - イベント・ログ」ページが表示されます。



システム情報

マシン名:
IBM X3640 M3abcd

マシン・タイプ/モデル:
7912AC1

システム情報 - イベント・ログ

タイプがクリティカル、警告、および通知のイベント・ログを表示するには、重大度レベルをクリックします。
検出された問題を訂正するための推奨アクションを取得します。次をクリックしてください: [問題判別およびサービス・ガイド](#)

9 クリティカル・イベント

0 警告イベント

37 通知イベント

レコード ID	メッセージ	タイム・スタンプ
1	System Management Software 1 (System Firmware Progress - Phy Presence Jmp): Assertion: Device Inserted / Device Present	2012年11月14日水曜日 11時29分55秒 EST
2	BIOS 1 (System Firmware Progress - Progress): Assertion: System Firmware Progress	2012年11月14日水曜日 11時29分56秒 EST
3	BIOS 1 (System Firmware Progress - ABR Status): Assertion: System Firmware Error (POST Error)	2012年11月14日水曜日 11時30分04秒 EST
4	System Management Software 1 (Management Subsystem Health - Low Security Jmp): Assertion: Device Inserted / Device Present	2012年11月14日水曜日 11時30分05秒 EST
5	BIOS 1 (System Firmware Progress - ABR Status): Deassertion: System Firmware Error (POST Error)	2012年11月14日水曜日 11時32分50秒 EST
6	Power Unit / Power Domain 1 (Power Unit - Host Power): Assertion: Power Off / Power Down	2012年11月14日水曜日 11時32分51秒 EST
7	Power Unit / Power Domain 1 (Power Unit - Host Power): Deassertion: Power Off / Power Down	2012年11月14日水曜日 11時33分01秒 EST
8	Power Unit / Power Domain 1 (Power Unit - Host Power): Assertion: Power Off / Power Down	2012年11月16日金曜日 9時34分11秒 EST
9	BIOS 1 (System Event - Aux Log): Assertion: Entry added to Auxiliary Log	2012年11月16日金曜日 11時31分06秒 EST
10	System Management Software 1 (System Firmware Progress - Phy Presence Jmp): Assertion: Device Inserted / Device Present	2012年11月16日金曜日 11時31分17秒 EST
11	BIOS 1 (System Firmware Progress - Progress): Assertion: System Firmware	2012年11月16日金曜日

図 42. システム情報 - イベント・ログ

イベント・ログ画面で「最新表示」をクリックして、最新のイベント・ログ状況を収集することができます。ナビゲーション・メニューから「イベント・ログ」を選択すると、以前に収集されたイベント・ログ情報が表示されます。

イベント・ログには、以下の 3 つのタイプの重大度レベルが記録されます。

- クリティカル
- 警告
- 通知

イベント・ログ・レポートのカテゴリーは、以下のとおりです。

- レコード ID
- メッセージ
- タイム・スタンプ

「イベント・ログ」ページには、情報を表示するために以下のオプションがあります。

- 矢印をクリックして、重大度レベル・カテゴリを展開します。重大度レベルの詳細ビューが表示されます。これには、収集されたすべてのイベントが含まれています。
 - レポート・カテゴリの見出しをクリックして、リストをソートします。
 - 矢印をクリックして、重大度レベル・カテゴリを省略します。最小化された重大度レベルのビューが表示されます。
2. 「問題判別およびサービス・ガイド」をクリックして、イベント・ログにある検出された問題に対する推奨アクションを表示します。
 3. イベント・ログ情報の表示を完了したら、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - ナビゲーション・メニューから「概要」の「システム情報 - 概要」ページまたは「ライト・パス」ページをクリックして選択します。
 - 画面上部にある、いずれかの ToolsCenter Suite メニュー項目をクリックします。

フル・システム情報の収集

このオプションは、分析、サービス、およびサポートのために、システムに照会してフル・システム情報を提供します。収集プロセスによって生成されたファイルは、IBM サポートまたは FTP サーバーに送信することができます。

手順

1. 「すぐに収集」をクリックして、フル・システム情報の収集機能を開始します。これらのファイルは、「システム情報 - 概要」ページで IBM サポートまたは FTP サーバーに送信できます。「フル・システム情報の収集」ダイアログ・ボックスが表示されます。



図 43. システム情報 - フル・システム情報の収集

収集プロセスの実行中は、進行状況表示バーが表示されます。

注: 収集操作が正常に完了する前に「キャンセル」をクリックすると、収集プロセスが停止し、データは何も記録されません。「キャンセル」をクリックするとダイアログ・ボックスが開き、続行するかどうかを尋ねてきます。続行するには「収集を続行」をクリックし、収集プロセスを停止するには「収集を停止」をクリックします。

収集の進行につれて、インベントリ・リストが生成されます。このリストは各インベントリ項目の状況に関する情報を提供し、情報の収集中は「初期化中 (Initializing)」を、収集が完了した場合は「完了」を示します。

- フル・システム情報の収集が正常に完了すると、次のページが表示されます。



図 44. システム情報 - フル・システム情報の収集の完了

以下のいずれかのオプションを選択します。

- 情報を IBM サポートまたは FTP サーバーに送信するには、「送信先」をクリックします。ドロップダウン・メニューから、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - IBM サポートに送信 (Send to IBM Support): ダイアログ・ボックスが表示され、IBM サポートへの収集の送信に数分かかる場合があることを示します。この操作が完了したら、「閉じる」をクリックします。IBM サポートへの送信に失敗した場合は、「インターネット接続の構成 (Configure Internet Connection)」ダイアログ・ボックスが表示されます。
- 注: インターネットに接続していない場合は、「インターネット接続の構成 (Configure Internet Connection)」ダイアログ・ボックスが表示されます。構成を検査して再試行します。あるいは、「OK」をクリックして続行するか、「キャンセル」をクリックします。詳しくは、12 ページの『インターネット接続の設定』を参照してください。
- FTP サーバーに送信: 「FTP サーバーに送信」ダイアログ・ボックスで以下の手順を実行します。
 - a. IP アドレスを入力します: FTP サーバー IP
 - b. FTP への送信アクションには認証が必要です。以下の情報を入力してください。
 - IP アドレスを入力します: FTP サーバー IP
 - ポート: デフォルト・ポートは 21 です。
 - 「認証が必要」をクリックして選択します。

- 「ユーザー名」を入力します。
- 「パスワード」を入力します。
- 「OK」をクリックして続行するか、「キャンセル」をクリックしてこの操作を終了します。
- 「ダウンロード」をクリックします。このオプションを使用すると、完全情報レポートをローカル・ファイルにダウンロードすることができます。zip ファイルを開くダイアログ・ボックスが表示され、フル・システム・レポートの zip ファイル名を示します。デフォルトでは、「ファイルを保存 (Save File)」オプションが選択されます。以下のいずれかのオプションを選択します。
 - zip ファイルをダウンロードするアプリケーションを参照して選択するには、「アプリケーションから開く (Open with)」をクリックします。「OK」をクリックします。zip ファイルを保存するためのディレクトリーを選択するダイアログ・ボックスが開きます。
 - 「OK」をクリックして、ファイルを保存します。zip ファイルを保存するためのディレクトリーを選択するダイアログ・ボックスが開きます。
- 「閉じる」をクリックして、「システム情報 - 概要」ページに戻ります。

タスクの結果

「システム情報 - 概要」ページに戻ると、収集情報名と日付スタンプが右ペインに表示されます。

The screenshot displays the 'System Information - Summary' page in the IBM ToolsCenter Suite. The left sidebar contains navigation options: 'System Information', 'General', 'Summary', and 'System Health'. The main content area is titled 'System Information - Summary' and includes a 'System Real-time Status Scan Summary' section with icons and status for Power (On), Sleep (Off), Check Log (On), and ID (Off). To the right, an 'Event Log' summary shows 9 Critical events, 0 Warnings, and 37 Notifications. Below this, a 'Full System Information Collection' section provides a link to download a report for machine 7912AC1_23NLW21_20121125-211048, collected on 2012年11月25日 21時11分07秒 EST. Buttons for 'Send to', 'Download', and 'Recollect' are visible at the bottom of the collection section.

図 45. システム情報 - フル・システム情報レポートのリンク

次のタスク

以下のいずれかのオプションを選択します。

- 日付スタンプの下にある**フル・システム情報レポート**のリンクをクリックして、ブラウザ・ウィンドウにフル・システム情報レポートを表示します。詳しくは、『ToolsCenter Suite レポートの表示』を参照してください。
- 「**送信先**」をクリックして、「**IBM サポートに送信 (Send to IBM Support)**」または「**FTP に送信 (Send to FTP)**」を選択します。
- 「**ダウンロード**」をクリックして、完全情報レポートをローカル・ファイルにダウンロードします。
- 「**再収集**」をクリックして、フル・システム情報を再収集します。
- このページにリストされているその他のオプションの 1 つをクリックして選択するか、別の ToolsCenter Suite 機能を選択します。

ToolsCenter Suite レポートの表示

このオプションを使用して、「フル・システム情報の収集」機能によって生成された ToolsCenter Suite レポートおよび詳細情報を表示します。

手順

1. 「システム情報 - 概要」ページで、**フル・システム情報レポート**のリンクをクリックして、フル・システム情報レポートを表示します。以下に示すように、ブラウザ・ウィンドウにシステム概要レポートが表示されます。

「**再収集**」をクリックして、レポートを表示する前にフル・システム情報を再収集することもできます。フル・システム情報が更新される間、「フル・システム情報の収集」ダイアログ・ボックスが表示されます。詳しくは、61 ページの『フル・システム情報の収集』を参照してください。

System Overview

Computer System

Manufacturer	IBM
Version	04
Product Name	IBM X3640 M3abddd-[7912AC1]
Serial Number	23NLW21
System UUID	c02ae805-44da-b601-0ca2-0013e86e43fb

Operating System

Computer Name	linux<>jo
Product Name	LINUX
Build Number	SUSE Linux Enterprise Server 10 SP4 (x86_64)
Vendor	Novell, Inc.
Kernel Name	Linux
Kernel Release	2.6.16.60-0.85.1-mp
Hardware Platform	x86_64
Uptime	2 days 19 hours 48 seconds
Time of Last Boot	11/23/2012 02:04:05

TimeZone

LocalDateTime	11/25/2012 21:04:41
Current Time Zone	EST

Current User

User Name	
-----------	--

Report Highlights

Message	
	/var/log/messages Log collection truncated after 4096 entries
	/var/ios/warn Log collection truncated after 4096 entries

図 46. システム情報 - フル・システム情報レポート

2. ナビゲーション・メニューから、5 つの主なレポート・カテゴリーにリストされた特定の項目を選択して、さらに詳細な情報を取得することができます。選択可能なレポート情報は、マシン・タイプ、オペレーティング・システム、インストールされたハードウェアとソフトウェアによって決まります。ご使用のシステムに適用されない情報は、ナビゲーション・メニューの中でぼかし表示になります。

- ソフトウェア

- システム概要 (System Overview)
- インストール済みパッケージ
- カーネル・モジュール (Kernel Modules)
- ネットワーク設定 (Network Settings)
- リソース使用状況 (Resource Utilization)
- プロセス
- OS 構成 (OS Configuration)
- Linux 構成ファイル (Linux Config Files)

- ハードウェア

- ハードウェア・インベントリ (Hardware Inventory)
- PCI 情報 (PCI Information)
- ファームウェア/VPD (Firmware/VPD)
- IMM 構成 (IMM Configuration)
- 環境 (Environmentals)
- ドライブ・ヘルス (Drive Health)
- LSI コントローラー (LSI Controller)

- LSI IDE コントローラー (LSI IDE Controller)
- Mellanox アダプター (Mellanox Adapter)
- PMC RAID
- ServeRAID
- ServeRAID ログ (ServeRAID Logs)
- QLogic
- Emulex
- Broadcom
- Brocade アダプター (Brocade Adapter)
- VMware ESXi
- ライト・パス
- IMM 組み込み自己診断テスト (IMM Built-in Self Test)
- FoD アクティベーション・キー (FoD Activation Key)
- **プラットフォーム・ログ (Platform Logs)**
 - /var/log/boot.log
 - /var/log/cron
 - /var/log/dmesg
 - /var/log/messages
 - /var/log/secure
- **IMM ログ (IMM Logs)**
 - シャーシ・イベント・ログ (Chassis Event Log)
 - IPMI イベント (IPMI Event)
- **分析 (Analysis)**
 - マージされたログ (Merged Log)
 - UpdateXpress
 - ファイル・ローダーの結果 (File Loader Results)
 - 診断ログ (Diagnostics Log)
 - DSA エラー・ログ (DSA Error Log)

3. 情報の表示が終了したら、クリックしてブラウザ・ウィンドウを閉じます。

IBM ToolsCenter Suite ファイル

このセクションでは、IBM ToolsCenter Suite ファイルが保管されている場所について説明します。

ToolsCenter Suite ログ・ファイル

ToolsCenter Suite ログ・ファイルは、`%ToolsCenterSuite%\apache-tomcat-7.0.26\webapps\tcsuite\WEB-INF\logs` ディレクトリーに保管されます。`%ToolsCenterSuite%` は作業ディレクトリーです。

新しいログ情報は、`tcsuite_20120909225751.log` ファイルに付加されます。ログ・ファイル名の中の数値は、年/月/日/時/分/秒を表しています。

更新ファイル

いずれかの更新オプションを使用してダウンロードされる更新ファイルは、以下のディレクトリーに保管されます。

UpdateXpress System Pack の XML ファイルおよびバイナリー・ファイル

```
%ToolsCenterSuite%\apache-tomcat-7.0.26\webapps\tcsuite\WEB-INF\depot\Update%\MachineType%\%OperatingSystem%\uxsp
```

個別の XML ファイルおよびバイナリー・ファイル

```
%ToolsCenterSuite%\apache-tomcat-7.0.26\webapps\tcsuite\WEB-INF\depot\Update%\MachineType%\%OperatingSystem%\individual
```

%ToolsCenterSuite% は ToolsCenter Suite の作業ディレクトリーです。

%MachineType% はサーバーの 4 桁のマシン・タイプで、選択されたマシン・タイプを表しています。また %OperatingSystem% はサーバーのオペレーティング・システムです。

第 5 章 トラブルシューティングおよびサポート

このセクションを使用して、ToolsCenter Suite の問題をトラブルシューティングし、解決します。

既知の制限

IBM ToolsCenter Suite 9.30の既知の制限は、以下のとおりです。

Windows 64 ビット・オペレーティング・システム

すべての Windows 64 ビット・オペレーティング・システムで、生データを入手すると、Windows OS に関する論理装置テーブル情報が失われます。

「Full Settings」オプション

「Full Settings」オプションで、**Power.PowerPerformanceBias** の値を変更した場合、設定変更が正常に行われなくても、エラー・メッセージは報告されません。

ToolsCenter Suite の並行操作

IBM ToolsCenter Suite では、一度に複数のセッション実行をサポートしていません。2 つ目のインスタンスを開始しようとする場合は、開いている ToolsCenter Suite ブラウザーのウィンドウをまず最初に閉じてから、「ToolsCenter Suite」のデスクトップ・ショートカットまたは .bat/.sh スクリプト・ファイルをクリックして 2 つ目のインスタンスを開始します。2 つ目のインスタンスを開始しようとする、以下のメッセージが表示されず。Warning! The current instance of ToolsCenter Suite that is running will be killed if you continue. If you select Y, the old instance will be killed and the new instance will be started. Continue? (Y/N)

「Y」を選択して、新しいインスタンスを起動します。

IBM サイトからのアクティベーション・キーのインストール

IBM KMS Web サイトからアクティベーション・キーをインストールするのに、プロキシを介したネットワーク接続を使用することはできません。

Firefox での、「Configuration」の「Boot Order」の場合

Firefox では、「Configuration」の「Boot Order」について、リスト・ビルダー・ウィジェットのブランク行を選択します。リスト・ビルダー・ウィジェットの最後の行が選択され、強調表示されます。

ToolsCenter Suite では IPv6 をサポートしません

ToolsCenter Suite では、IPv6 FTP サーバーへの、収集された完全な情報の送信をサポートしていません。

回避策

IBM ToolsCenter Suite 9.30には、以下の回避策が適用されます。

「Configuration」の「Frequently Used Settings」の「Energy and Performance」について、「Custom」モードが現在サポートされていません。

回避策:

これらの値を変更するには、「Full Settings」を使用します。

一部の Windows オペレーティング・システムで IE を使用中に、「進行中」アイコンが回転しない場合があります。

回避策:

- Windows 2008 では、「Windows サーバー マネージャ」 > 「IE セキュリティ強化の構成」の下で、現行ユーザーについて「Internet Explore セキュリティ強化構成」をオフにします。
- Windows 2003 では、「スタート」メニューから「コントロール パネル」を開きます。「プログラムの追加と削除」をクリックし、次に、「Windows コンポーネントの追加/削除」をクリックします。「Internet Explorer セキュリティ強化の構成」オプションを選択解除して、「次へ」をクリックします。Windows により、このコンポーネントがアンインストールされます。

一部の Windows オペレーティング・システムで IE を使用中に、Local ファイルからアクティベーション・キーをインストールする際にアクティベーション・キーのインストール進行中のページはありません。

回避策:

- Windows 2012 では、「サーバー マネージャ」 > 「ローカル サーバー」の下で、「IE セキュリティ強化の構成」をオフにします。
- Windows 2008 では、「Windows サーバー マネージャ」 > 「IE セキュリティ強化の構成」の下で、現行ユーザーについて「Internet Explore セキュリティ強化構成」をオフにします。
- Windows 2003 では、「スタート」メニューから「コントロール パネル」を開きます。「プログラムの追加と削除」をクリックし、次に、「Windows コンポーネントの追加/削除」をクリックします。「Internet Explorer セキュリティ強化の構成」オプションを選択解除して、「次へ」をクリックします。Windows により、このコンポーネントがアンインストールされます。

注意

IBM ToolsCenter Suite 9.30 には、以下の注意が適用されます。

- Internet Explorer v10 (IE10) では、パスワード入力フィールドに目のアイコンが付くようになりました。目のアイコンを使用して、パスワード情報を読み取ることができます。これは、IE 10 の新しい機能です。
- IBM ToolsCenter の開始は、デスクトップ・ショートカットまたは .bat/.sh スクリプト・ファイルから行う必要があります。ブラウザのウィンドウから直接リンクを開くと、予測できない結果が生じることがあります。
- ToolsCenter Suite を Linux 環境で実行するためには、run.sh の実行特権を変更します。
- ブラウザーのウィンドウで「戻る」、「進む」、「最新表示」などのブラウザ・アクションを使用することはお勧めしません。IBM ToolsCenter Suite では、

「戻る」、「進む」、「最新表示」をサポートしていません。場合によっては、これらのブラウザ機能を使用すると、予想しない結果が生じることがあります。

- System Information および Updates では、「Setting」メニュー項目で構成されたプロキシを使用し、ブラウザ構成で構成されたプロキシは使用しません。
- サーバーが正しく動作することを確認するために、Configuration 機能の「Full Settings」オプションの **SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName** を編集することはできません。

ヘルプおよび技術援助の入手

この情報を使用して、ご使用の IBM System x ツールおよび BladeCenter ツールに関する技術援助を検索してください。

このタスクについて

ヘルプ、サービス、技術支援、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供している支援をご利用いただけます。このセクションでは、IBM と IBM 製品に関する追加情報の入手先、ご使用のシステムで問題が発生した場合の対処方法、およびサービスが必要になった場合の連絡先について記載しています。

連絡する前に

サービスおよびサポートに連絡して問題を報告する前に、この情報を使用してください。

このタスクについて

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

- 最新バージョンのツールがインストールされていることを確認します。
- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション装置の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用のシステムに付属の資料に記載のトラブルシューティング情報を参照するか、診断ツールを使用します。
- IBM サポート Web サイト (<http://www.ibm.com/support/jp/ja/>) にアクセスして、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーがないか調べます。
- IBM Web サイトの IBM ディスカッション・フォーラムを使用して、質問を出します。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。IBM システムに付属の説明資料にも、お客様が実行できる診断テストについての説明があります。大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合

は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

資料の使用に関する詳細情報を見つけるには、この情報を使用します。

このタスクについて

IBM システムおよびプリインストール・ソフトウェア (ある場合) またはオプション装置に関する情報は、製品に付属の資料に記載されています。その資料には、インフォメーション・センター、オンライン資料、印刷された資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルが含まれる場合があります。診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けています。これらのページにアクセスするには、IBM サポート Web サイト (<http://www.ibm.com/support/jp/ja/>) に進み、説明に従ってください。また、一部の資料は IBM Publications Center Web サイト (www.ibm.com/shop/publications/order/) から入手できます。IBM System x ツールおよび BladeCenter ツールの資料は、IBM ToolsCenter Web サイト (www.ibm.com/shop/publications/order/) で入手できます。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

この情報を使用して、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートに関する最新情報を検索してください。

このタスクについて

WWW 上の IBM Web サイトには、IBM システム、オプション装置、サービス、ツール、およびサポートに関する最新情報が記載されています。IBM System x に関する情報のアドレスは、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/> です。IBM BladeCenter に関する情報のアドレスは、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/> です。IBM IntelliStation[®] に関する情報のアドレスは、<http://www-06.ibm.com/jp/products/workstations/intellistation/product/list.shtml> です。

IBM のシステムおよびオプション装置に関するサービス情報は、<http://www.ibm.com/support/jp/ja/> にあります。

ソフトウェアのサービスおよびサポート

この情報を使用して、ご使用の IBM System x ツールおよび BladeCenter ツールに関する疑問について、IBM のサービスおよびサポートに連絡します。

このタスクについて

IBM サポート・ラインを使用すると、System x サーバー、BladeCenter 製品、IntelliStation ワークステーション、および装置の使用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話による援助を有料で受けることができます。使用する国または地域で、サポート・ラインがサポートする製品について詳しくは、<http://www-935.ibm.com/services/jp/index.wss/offering/its/a1009397> をご覧ください。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、
www.ibm.com/services/ をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/partnerworld/jp/> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、
1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスおよびサポート

この連絡先情報を使用して、新規の機器をオーダーするか、IBM サービス・サポートを要求します。

このタスクについて

ハードウェアの保守は、IBM サービスか IBM 販売店を通じて受けることができます (販売店が IBM から保証サービスを行う許可を得ている場合)。サポートの電話番号については、www.ibm.com/planetwide/を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

付録. IBM ToolsCenter Suite ToolsCenter Suite のアクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害などの障害を持つユーザーが情報技術製品を快適に使用できるようにサポートします。

アクセシビリティ機能

以下は、ToolsCenter Suite の主なアクセシビリティ機能のリストです。

- キーボードのみを使用して操作できる
- 色に頼らずにすべての情報を伝える
- 代替出力デバイスの接続をサポートする
- アクセシビリティ・フォーマットのオンライン資料を提供する

IBM ToolsCenter for System x and BladeCenter インフォメーション・センターの ToolsCenter Suite に関する一連のトピックとその関連資料は、アクセシビリティに対応しており、次世代プラットフォームをサポートしています。

キーボード・ナビゲーション

本製品は、標準の Microsoft Windows ナビゲーション・キーを使用しています。

IBM とアクセシビリティ

アクセシビリティに関する IBM のコミットメントについて詳しくは、IBM Human Ability and Accessibility Center Web サイト (www.ibm.com/able) を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
MW9A/050
5600 Cottle Road
San Jose, CA 95193
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴ、および [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe および Adobe ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アクション 44
アクセシビリティ
キーボード 75
機能 75
ショートカット・キー 75
アクティベーション・キー管理 38
イベント・ログ情報 60
エネルギーおよびパフォーマンス 42, 43, 44
オペレーティング・システム、サポートされている 4

[カ行]

解決、問題 69
概要 1
キーボード 75
機能、アクセシビリティ 75
更新 15
更新のダウンロード 29
「更新のダウンロード」の使用 29
構成 33
個別の更新 23
個別のファームウェアのダウンロード 31

[サ行]

サポート、連絡 69
サポートされているオペレーティング・システム 4
サポートされているソフトウェア 4
サポートへの連絡 69
システム情報 57
システム・コンタクト 41
ショートカット・キー 75
商標 78
身体障害 75
新着情報 ix
推奨更新 17

[タ行]

特記事項 77
トラブルシューティング 69

[ハ行]

ブート順序 35
フル設定 47
フル・システム情報の収集 61, 65

[マ行]

問題解決 69

[ヤ行]

よく使用する設定 35

[ラ行]

ライト・パス状況 58

B

BootOrder 54

I

IBM ToolsCenter Suite の開始 9
IBM ToolsCenter Suite ファイル 67
IMM 設定 50
IMM ユーザー・アカウント 37
iSCSI 設定 51

L

Linux 5

M

M4 マシン・タイプ 43

S

SYSTEM_PROD_DATA 設定 49

T

ToolsCenter Suite
新機能 ix
ダウンロード 7
ToolsCenter Suite のダウンロード 7
ToolsCenter Suite レポート 65

U

uEFI 設定 53
UXSP 更新 17
UXSP のダウンロード 29

V

v9.30 での新機能 ix

W

Wake on LAN ブート順序 35
Web リソース vii
Windows 4



Printed in Japan